

## 第8回岩手県新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会の結果 について

新型コロナウイルス感染症患者の大幅な増加に対応できる本県の医療体制を構築するため、「岩手県新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）を開催しましたのでお知らせします。

### （1）開催日時等

日 時 令和3年5月29日（土）17時00分～18時30分  
場 所 岩手県庁12階 特別会議室（Web会議形式により開催）

### （2）委員会の内容

5月28日までの本県における感染状況及びクラスター対応状況を報告し、情報共有しました。

また、前回の検討委員会において説明した「病床・宿泊療養施設確保計画」の見直しについて検討しました。

### ○ 検討委員会での意見を踏まえ確認した内容は次のとおりです

現行の計画を維持しつつも、後方支援医療機関へ協力を強化し、感染症病床の有効活用を図っていくことが重要であることを確認しました。

また、感染が拡大し、一時的に病床や宿泊療養施設での受入れが難しい場合における自宅療養を選択せざるを得ない場合、急変時に対応する医療機関について、予め対応医療機関の対応リストを作成するなど今後更なる検討が必要であることを共有しました。

### （3）委員から出された主な意見等

- ・ 宿泊療養施設に入所した患者の精神的サポートの強化
- ・ クラスターが発生した施設職員等のサポート
- ・ 宿泊療養施設の増設の検討

などの意見が出されました。

引き続きこれまでの本県における対応の課題を整理し、必要な体制整備を進め、新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制の充実を図っていきます。

# 第8回岩手県新型コロナウイルス感染症 医療体制検討委員会

日 時：令和3年5月29日（土）17：00～18：30

場 所：岩手県庁 12階 特別会議室（WEB会議）

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 挨 拶

### 3. 議 題

#### (1) 報告

新型コロナウイルス感染症の感染状況及びクラスター対応状況について **【資料1】**

#### (2) 議事

病床・宿泊療養施設確保計画の見直しについて **【資料2】**

#### (3) 情報提供

新型コロナワクチン接種の進捗状況について **【資料3】**

クラスター対応状況について **【資料4】**

新型コロナウイルス変異株検査結果について **【資料5】**

高齢者施設等における網羅的なPCR検査の実施について **【資料6】**

#### (4) その他

### 4. 閉 会

# 岩手県新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会名簿

令和3年5月29日

No.	所属機関名等	職名等	氏名	備考
1	(一社)岩手県医師会	常任理事	吉田 耕太郎	
2		理事 岩手県医師会新型コロナウイルス 感染症対策本部 特任部会部会長	下 沖 収	※県庁
3	岩手医科大学附属病院	小児科学講座 教授	赤坂 真奈美	代理： 准教授 石川 健
4		産婦人科学講座 教授	馬 場 長	
5		泌尿器科学講座 腎・血液浄化療法学分野教授	阿 部 貴 弥	
6		救急・災害・総合医学講座 災害医療分野教授	眞 瀬 智 彦	岩手 DMAT ※ 県庁
7		神経精神科学講座 教授	大塚 耕太郎	岩手 DPAT
8		感染制御部長	長 島 広 相	
9	盛岡赤十字病院	院長	久 保 直 彦	※県庁
10	独立行政法人国立病院機構 盛岡医療センター	院長	木 村 啓 二	
11	盛岡つなぎ温泉病院	理事長	小 西 一 樹	
12	盛岡市立病院	院長	加 藤 章 信	委員長 ※県庁 感染症指定医療機関
13	岩手県医療局	県立中央病院 院長	宮 田 剛	副委員長
14		県立胆沢病院 特任看護師	福 田 祐 子	いわて感染制御支援チ ーム(ICAT)副統括
15	盛岡市保健所	所長	矢 野 亮 佑	中核市
16	岩手県保健所長会	岩手県宮古保健所 所長	杉 江 琢 美	※県庁
17	(一社)岩手県歯科医師会	専務理事	大 黒 英 貴	
18	(一社)岩手県薬剤師会	専務理事	熊 谷 明 知	
19	(公社)岩手県看護協会	会長	及 川 吏 智 子	
20	岩手県消防長会	盛岡地区広域消防組合消防長	藤 澤 厚 志	代理：盛岡地区広域消 防組合消防本部警防課 長 中村 義昭※県庁

【入院等搬送調整班】

No.	所属	職名等	氏名	備考
1	副班長	岩手医科大学附属病院 救急・災害・総合医学講座災害医療分野助教	中島 成隆	
2	副班長	県立中央病院 救急医療部長	須原 誠	
3	副班長	県立胆沢病院 人工透析科長兼災害医療科長兼泌尿器科医長	忠地 一輝	
4	業務調整員	岩手医科大学附属病院 救急・災害・総合医学講座災害医療分野助教	藤原 弘之	
5	業務調整員	岩手医科大学附属病院 救急・災害・総合医学講座災害医療分野助教	富永 綾	

【県側出席者】

No.	所属	職名等	氏名	備考
1	保健福祉部	部長	野原 勝	
2		副部長	村上 宏治	
3		理事心得	工藤 啓一郎	
4		医療政策室長	佐々木 亨	
5		特命参事	吉田 陽悦	復興防災部 総括危機管理監
6		医療政策室感染症課長	三浦 節夫	危機管理監
7		主任主査	坂下 修	
8		主任	小野寺 志保	
9		主事	岸根 健太	

新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について

1 岩手県の患者の発生状況及び検査状況

(1) 岩手県における患者の発生状況

5月28日 12時時点【入退院等の状況】

累計患者数	内訳					
	入院数	うち重症者	宿泊療養中	退院・療養解除	死亡者	入院等調整中
1,407人 (+11)	86人 (▲5)	2人 (0)	38人 (+2)	1,234人 (+18)	43人 (0)	6人 (▲4)

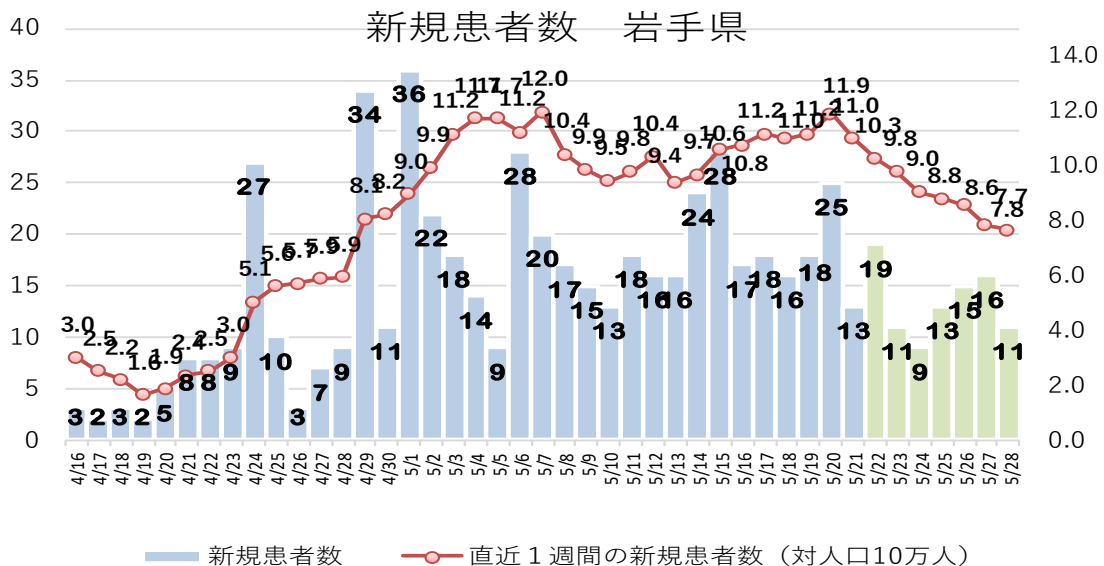
( ) は前日からの増減数

医療圏別	患者数
盛岡	822人
中部	154人
胆江	162人
両磐	78人
気仙	46人
釜石	13人
宮古	86人
久慈	36人
二戸	10人
合計	1407人

年代別	患者数
10歳未満	85人
10代	94人
20代	238人
30代	195人
40代	203人
50代	187人
60代	140人
70代	113人
80代	99人
90歳以上	53人
合計	1407人

(2) 岩手県における新規患者数推移：

(単位：人)



(3) 岩手県における行政検査件数

(単位：件)

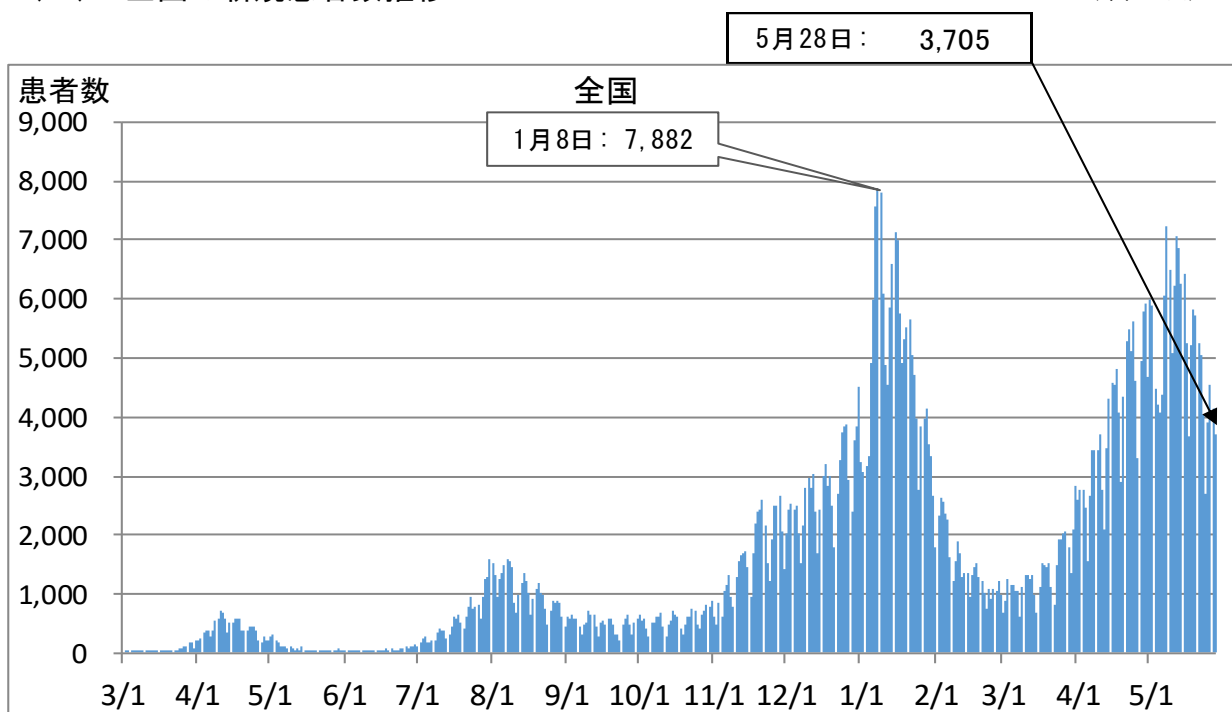
検査結果判明日	5/21 (金)	5/22 (土)	5/23 (日)	5/24 (月)	5/25 (火)	5/26 (水)	5/27 (木)	累計※
PCR検査（環保研）	160	113	55	164	95	134	86	23,847
PCR検査（民間）	1,501	157	4	201	1,142	92	115	31,939
抗原検査	334	81	7	104	141	84	69	16,521
合計	1,995	351	66	469	1,378	310	270	72,307
ウイルス検出数	19	11	9	13	15	16	11	1,407

※累計：令和2年2月13日からの累計

## 2 患者数の推移

(1) 全国の新規患者数推移：

(単位：人)

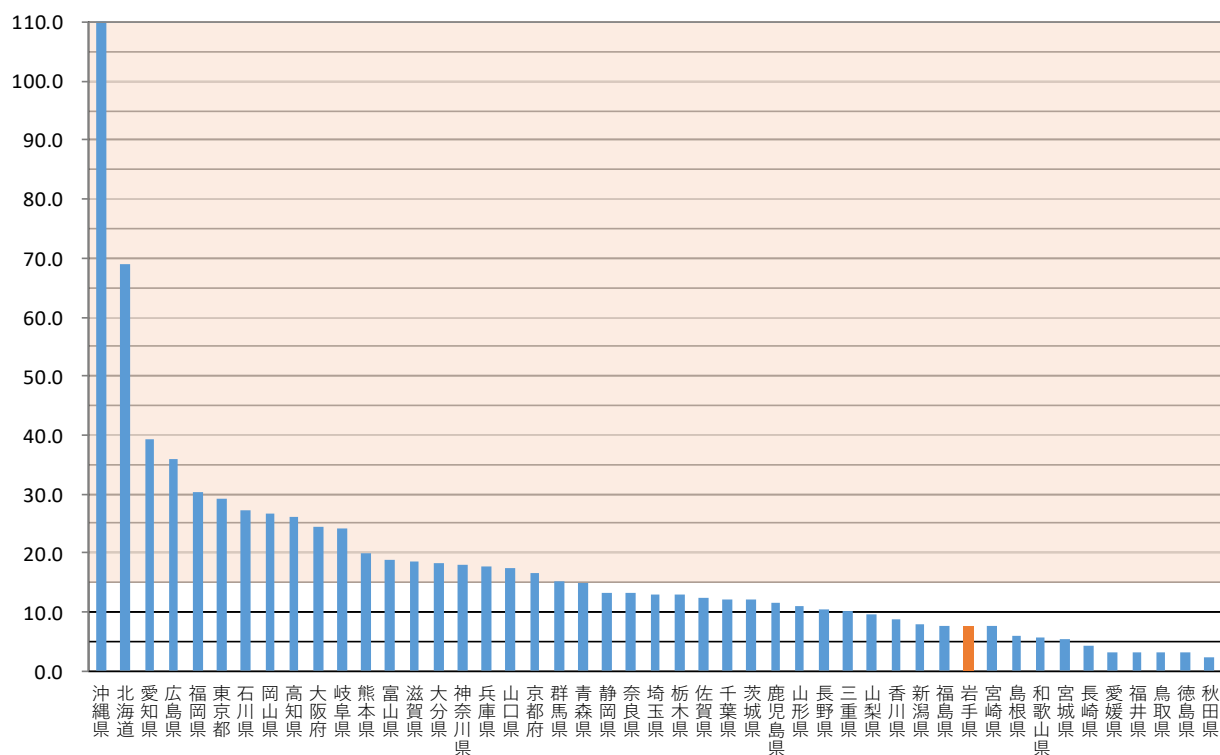


(2) 東北地方の新規患者数推移：

(単位：人)

県名	4月24日 ～ 4月30日	5月1日 ～ 5月7日	5月8日 ～ 5月14日	5月15日 ～ 5月21日	5月22日 ～ 5月28日	累計
青森県	141	149	201	202	187	2,315
岩手県	101	147	119	135	94	1,407
宮城県	208	218	230	208	125	8,829
秋田県	53	103	111	64	22	755
山形県	102	70	98	139	120	1,945
福島県	225	344	434	245	143	4,541

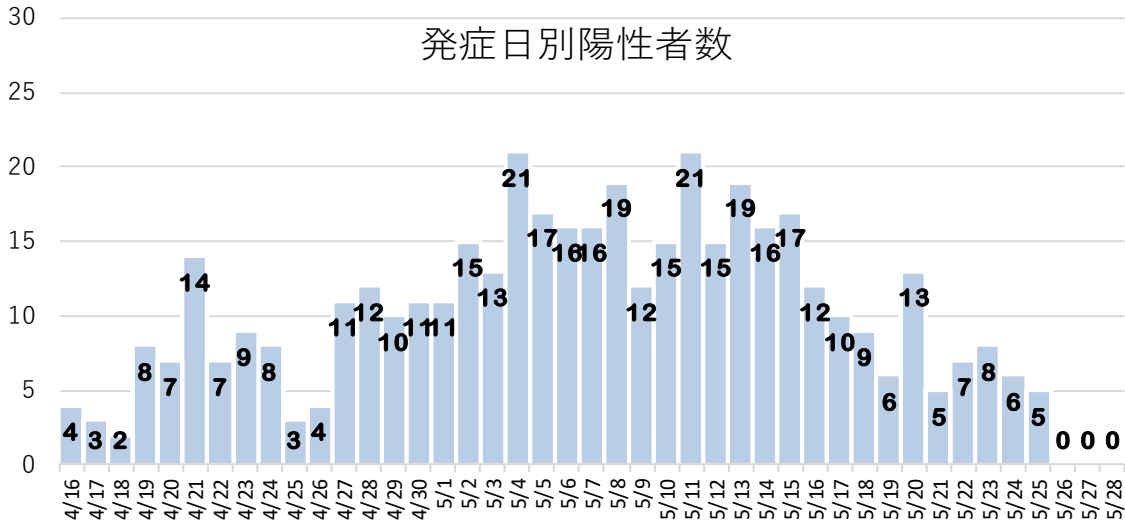
(3) 直近1週間の新規患者数(対人口10万人)： 5月22日～5月28日



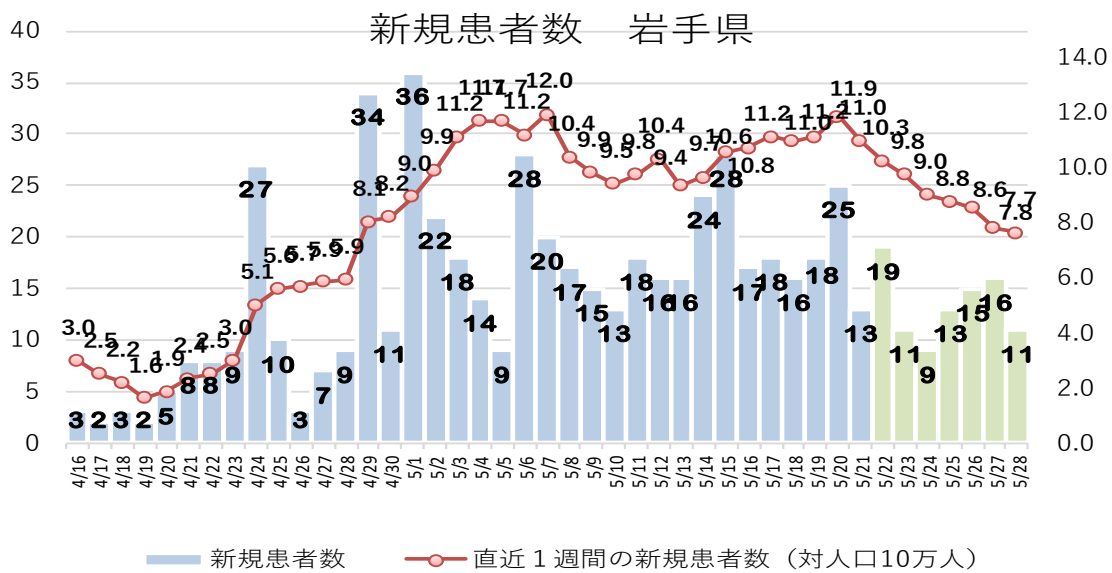
都道府県	10万人あたり患者数	神奈川県	18.1	三重県	10.1
沖縄県	110.3	兵庫県	17.6	山梨県	9.7
北海道	69.1	山口県	17.3	香川県	8.6
愛知県	39.2	京都府	16.7	新潟県	8.0
広島県	35.8	群馬県	15.3	福島県	7.7
福岡県	30.3	青森県	15.0	岩手県	7.7
東京都	29.2	静岡県	13.2	宮崎県	7.5
石川県	27.2	奈良県	13.2	島根県	5.9
岡山県	26.6	埼玉県	13.0	和歌山県	5.7
高知県	26.2	栃木県	12.9	宮城県	5.4
大阪府	24.4	佐賀県	12.3	長崎県	4.1
岐阜県	24.0	千葉県	12.0	愛媛県	3.2
熊本県	20.0	茨城県	12.0	福井県	3.1
富山県	18.9	鹿児島県	11.5	鳥取県	3.1
滋賀県	18.6	山形県	11.1	徳島県	3.0
大分県	18.2	長野県	10.3	秋田県	2.3

### 3 安定した状況からの立ち上がりを示す指標（岩手県）

#### (1) 発症日別陽性者数

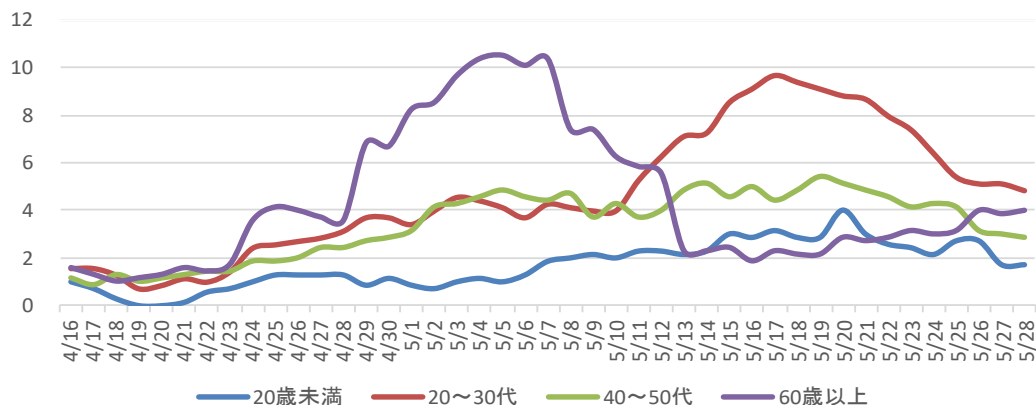


【再掲】



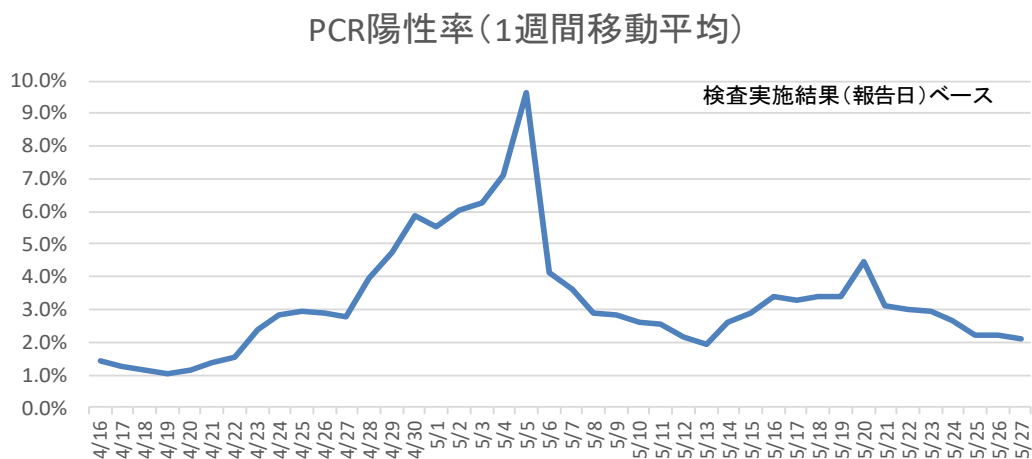
#### (2) 年齢階層別新規陽性者数

年齢階層別新規陽性者数(1週間移動平均)

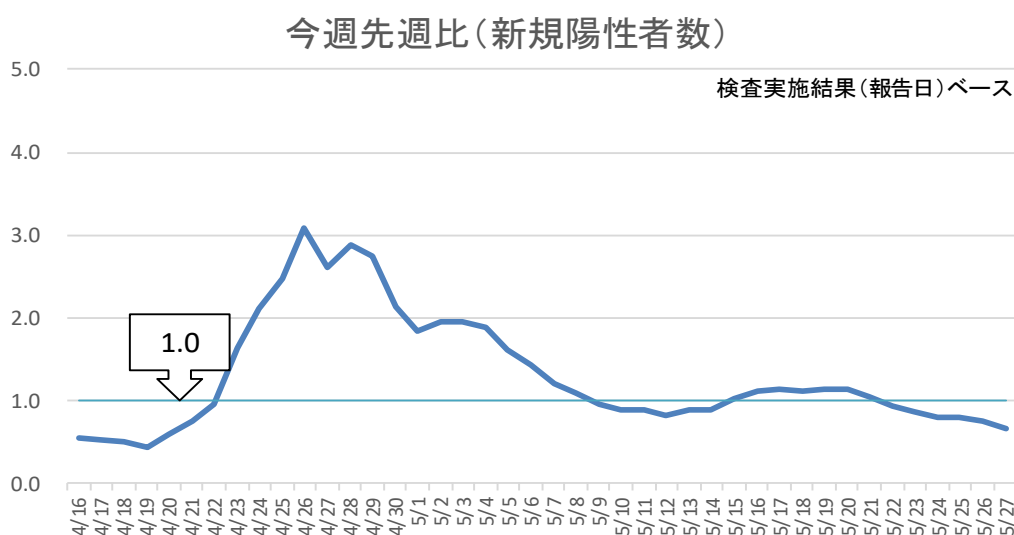




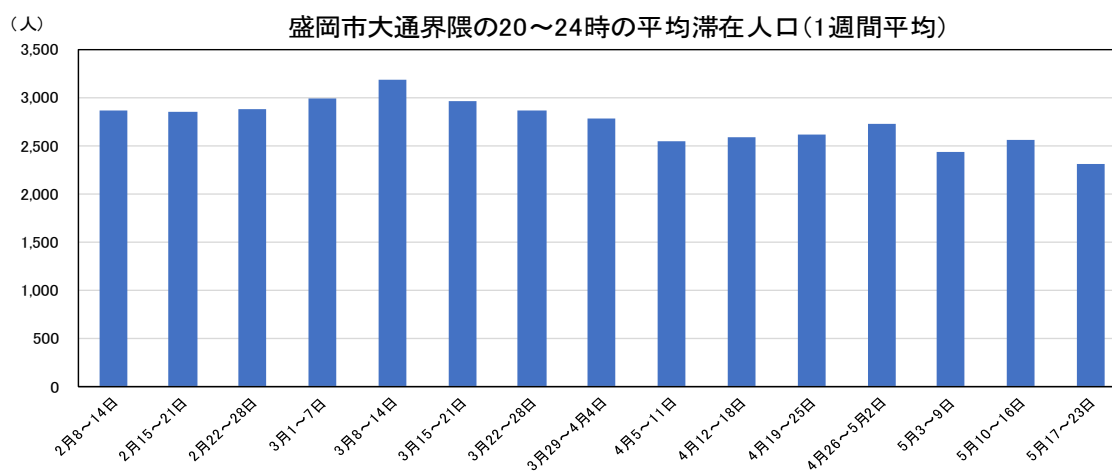
### (3) PCR陽性率



### (4) 今週先週比(新規陽性者数)



### (5) 歓楽街の夜間の人流



【出典及び分析方法】 KDDI Location Analyzer (<https://k-locationanalyzer.com/>)

- ・滞在人口はauスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した**拡大推計値**である。未成年者・インバウンドは集計対象外。
- ・右の地図で囲んだ範囲(大通繁華街周辺、滞在時間60分以上)を抽出して集計を行った。



## 4 ステージ判断のための指標

5月28日時点

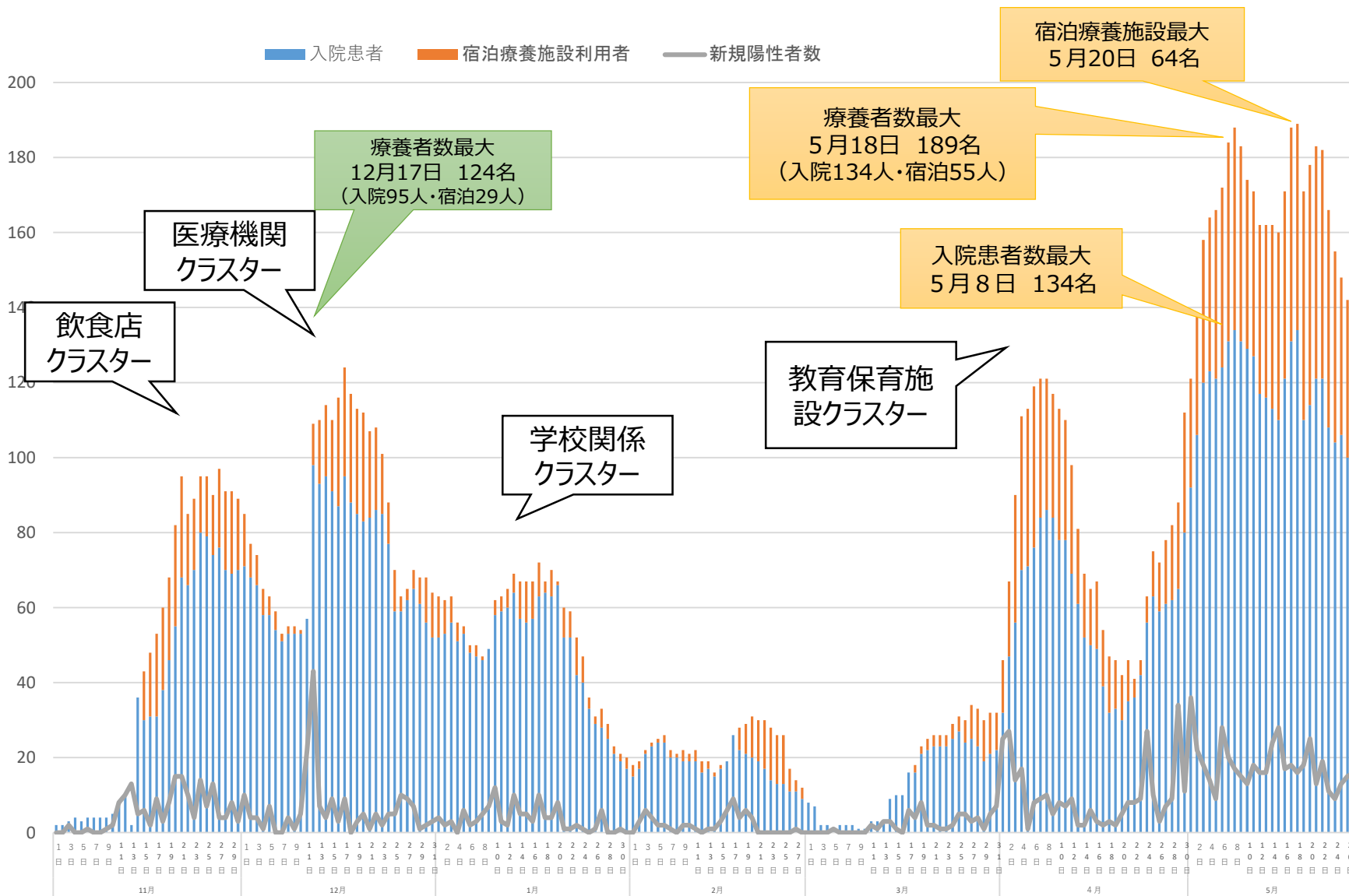
指 標			岩手県	ステージⅢ の目安指標	ステージⅣ の目安指標	
医療提供 体制の 負荷	①医療のひっ迫 具合	入院医療	確保病床の 使用率	24.6% (▲ 10.0) (86/350床)	20%以上	50%以上
			入院率 (入院者/療養者)	66.2% (+ 4.1) (86/130人)	40%以下	25%以下
		重症者用 病床	確保病床の 使用率	4.4% (+ 2.2) (2/45床)	20%以上	50%以上
	②療養者数 (対人口10万人)			10.6 人 (▲ 5.3) (実数130人)	20人以上	30人以上
感染の 状況	③PCR陽性率 (直近1週間)			1.9% (▲ 2.6) (94/4839人)	5%以上	10%以上
	④新規陽性者数 (対人口10万人・直近1週間)			7.7 人 (▲ 3.3) (実数94人)	15人以上	25人以上
	⑤感染経路不明割合 (直近1週間)			30.9% (+ 8.6) (29/94人)	50%以上	50%以上

※ ( )は、前週差。また、入院率は療養者数(対人口10万人)が10人以上の場合に適用。

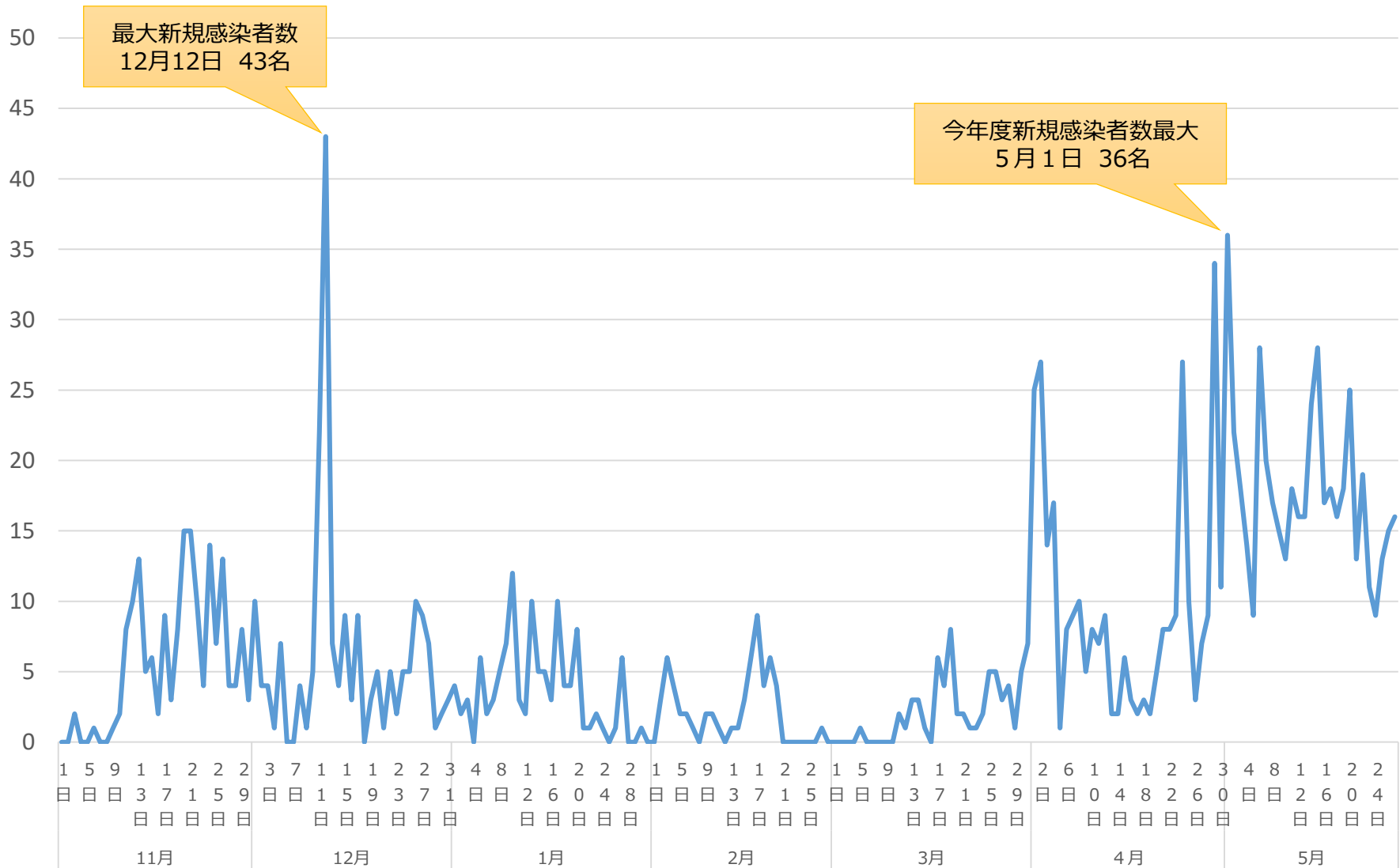
【参考】感染状況のステージ (国分科会提言)

	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
感染状況の ステージ	医療体制に特段の支障が ない段階	感染者の漸増及び医療提 供体制への負荷が蓄積す る段階	感染者の急増及び医療提 供体制における大きな支障 の発生を避けるための対応 が必要な段階	爆発的な感染拡大及び深 刻な医療提供体制の機能 不全を避けるための対応が 必要な段階

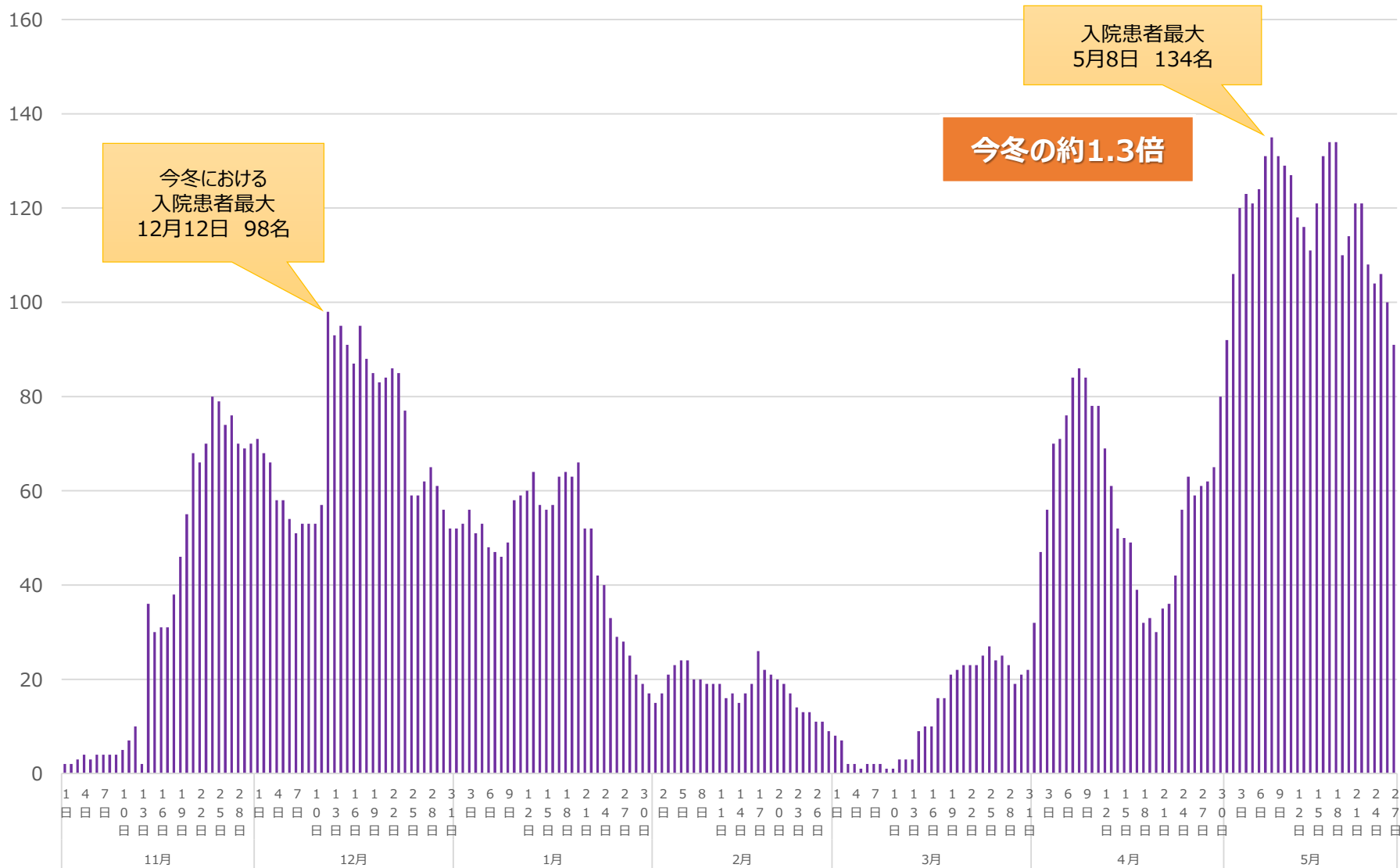
# 岩手県の新規感染者・療養者の推移



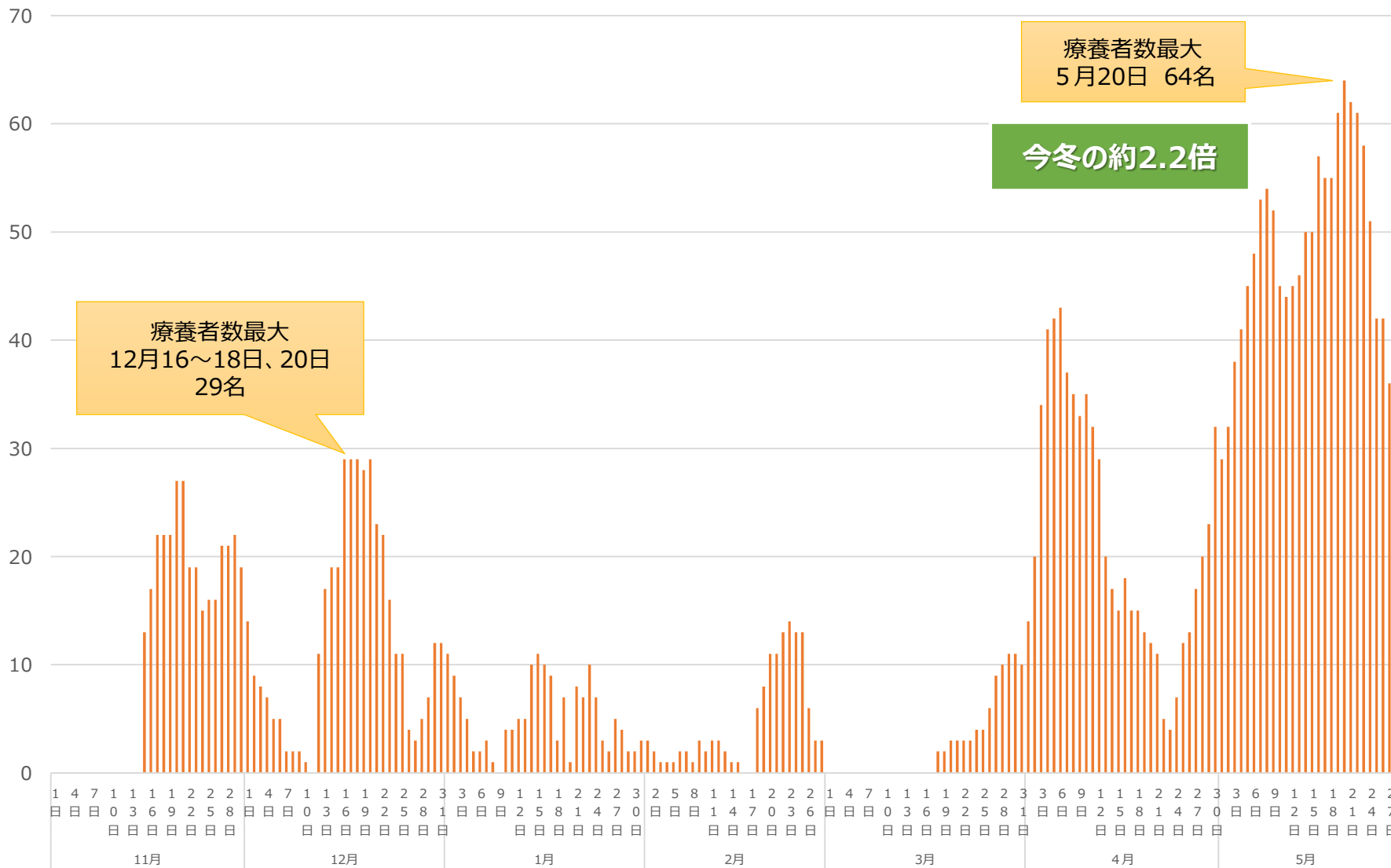
# ① 新規感染者数の推移



## ②入院患者数の推移



# ③ 宿泊療養者数の推移



# 岩手県内のクラスター確認例(令和3年4月～)

資料1-3



# 岩手県内のクラスター確認例（令和3年4月～5月29日）

【令和3年4月～】

月	No.	区 分	二次保健 医療圏	患者 数等
4月	20	教育・保育施設1	盛岡	61
	21	スポーツ活動1	両磐	10
	22	スポーツ活動2	両磐	8
	23	学校2	盛岡	7
	24	スポーツ活動3	胆江	9
	25	職場7	胆江	9
	26	飲食店4	盛岡	14
	27	地域3	胆江	19
	28	高齢者施設2	盛岡	42
	29	医療施設3	両磐	5
5月	30	高齢者施設3	胆江	80
	31	学校3	岩手中部	29
	32	地域4	盛岡	21
	33	飲食店5	盛岡	9
	34	教育・保育施設2	両磐	14
	35	教育・保育施設3	岩手中部	27
	36	職場8	盛岡	7
	37	職場9	盛岡	8
	38	学校4	盛岡	13

月	No.	区 分	二次保健 医療圏	患者 数等
5月	39	職場10	岩手中部	11
	40	飲食店6	盛岡	5
	41	職場11	盛岡	9
	42	飲食店7	盛岡	11
	43	飲食店8	盛岡	6

※ 複数圏域にまたがるクラスター（二次感染例含む。）は、起点となった圏域に計上



# 岩手県内のクラスター確認例（令和2年～3年3月末）

【令和2年～3年3月末】

月	No.	区分	二次保健 医療圏	患者数
9月	1	職場1	胆江	4
11月	2	飲食店1	盛岡	52
	3	飲食店2	盛岡	17
	4	職場2	盛岡	15
	5	職場3	盛岡	13
	6	地域活動	盛岡	7
	7	高齢者施設1	久慈	8
	12月	8	医療施設1	盛岡
9		医療施設2	盛岡	118
10		飲食店3	両磐	18
1月	11	職場4	盛岡	8
	12	共同生活	岩手中部	13
	13	会食	岩手中部	8
2月	14	地域1	宮古	13
	15	地域会合	気仙	6
	16	学校1	気仙	22
3月	17	地域2	久慈	14
	18	職場5	盛岡	13
	19	職場6	盛岡	9



※ 複数圏域にまたがるクラスター（二次感染例含む。）は、起点となった圏域に計上

# 新型コロナウイルス感染症の 症状等の解析データ (令和3年5月28日 確定版)

## 1 調査時点

令和3年3月31日

## 2 目的

これまでに得られた患者情報から、感染時の症状等、実態を明らかにする。

## 3 患者の調査期間および調査対象者

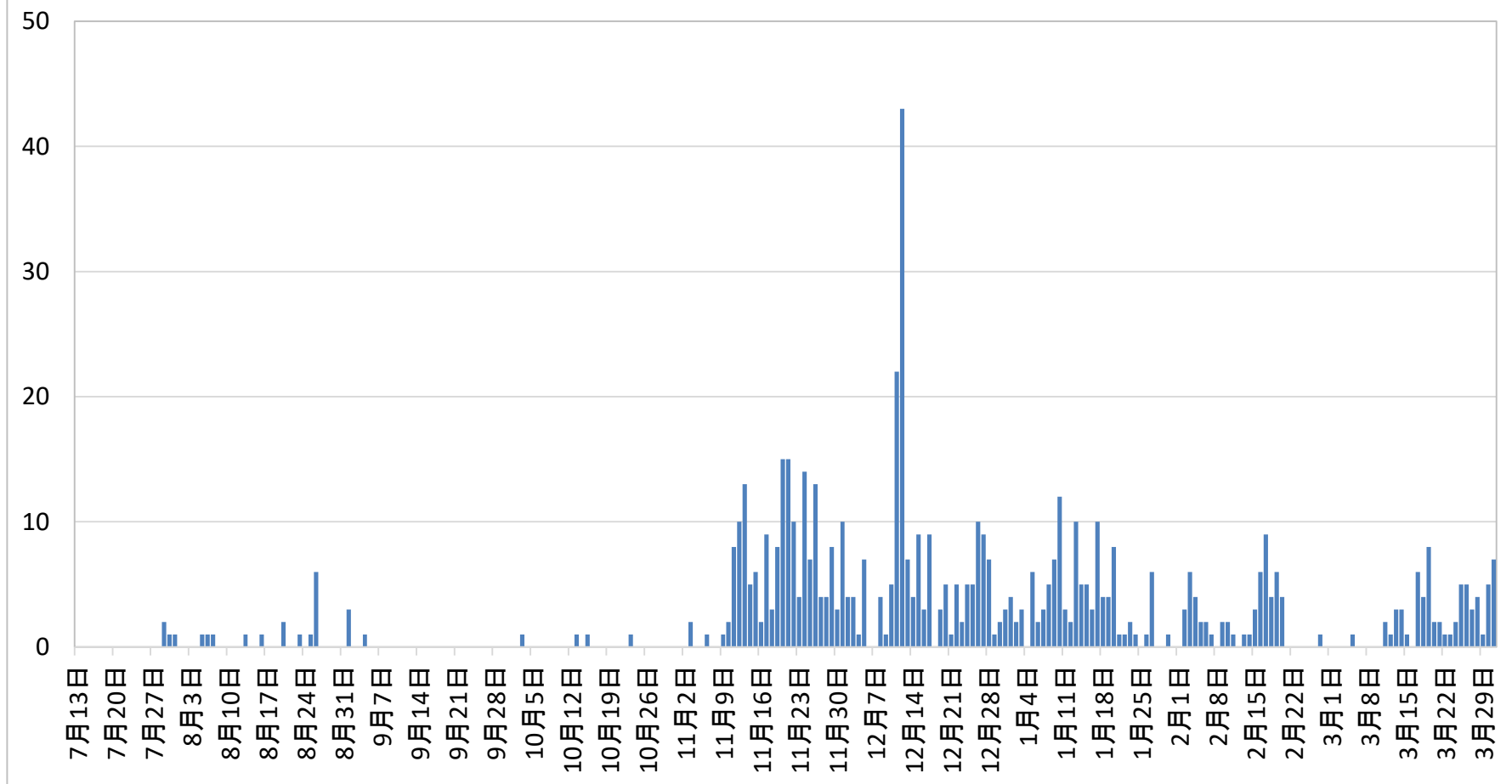
令和2年7月29日から令和3年3月31日までに公表した患者(解析の一部は、上記期間に公表した患者のうち、一部の患者のみ分析)

## 4 調査方法

患者の積極的疫学調査票、記者席配布資料、コロナ対策班の患者等一覧リスト、感染症課での資料、知事業務報告・報道資料の患者管理票などからデータ抽出

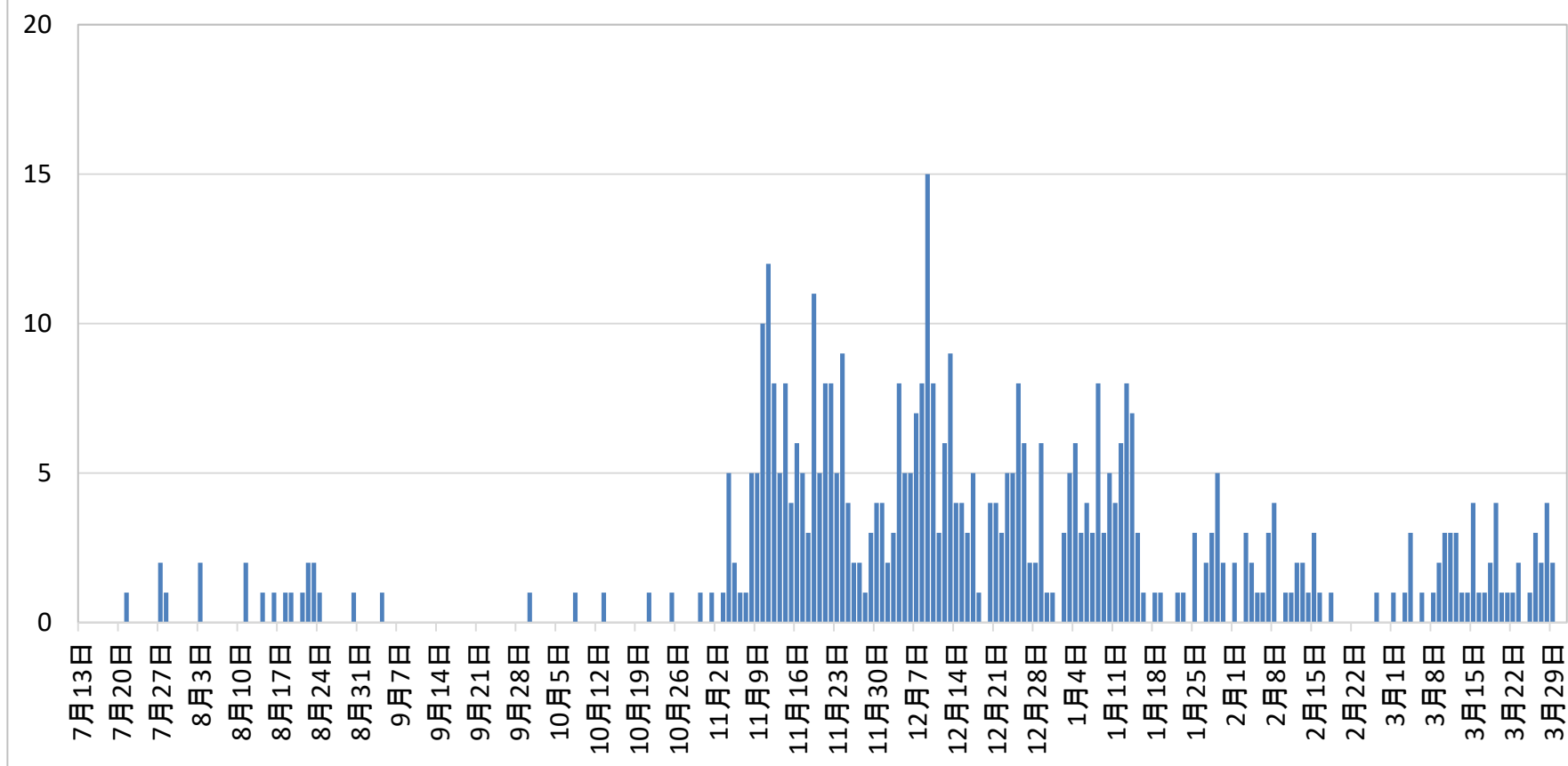
# 公表日別・患者等確認状況【2020年7月～2021年3月 岩手県】

新型コロナウイルス感染症、岩手県、n=621、  
令和2年7月～令和3年3月31日まで、公表日

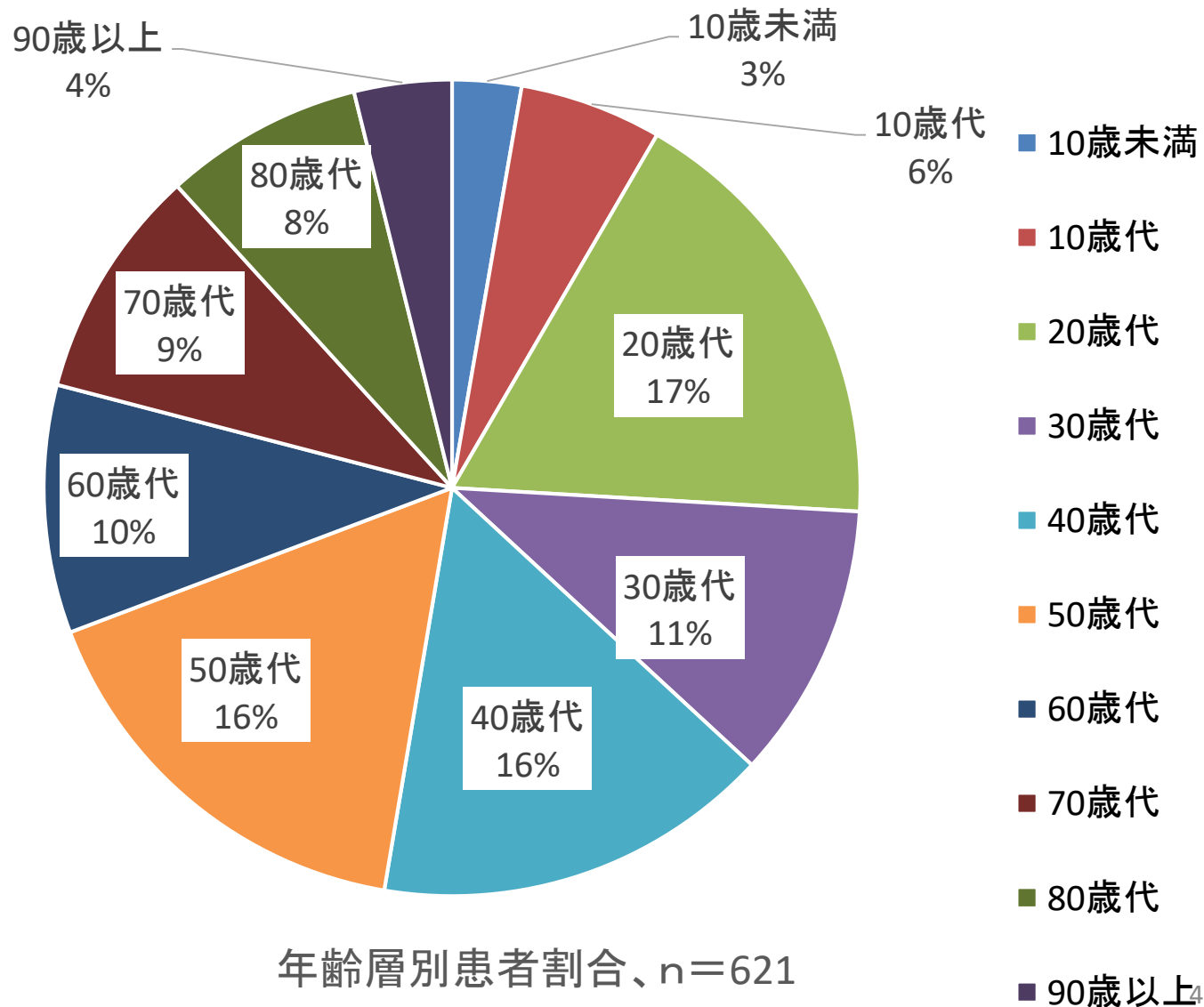


# 発症日別・患者等確認状況【2020年7月～2021年3月 岩手県】

新型コロナウイルス感染症、岩手県、n=483、  
令和2年7月～令和3年3月31日まで、発症日  
(無症状病原体保有者等を除く)



# 年齡層別患者割合【2021.3.31現在 岩手県】



# 年齢層・男女別、医療圏別【2021.3.31現在 岩手県】

区 分	男	女	合計
10歳未満	9	8	17
10歳代	15	20	35
20歳代	66	43	109
30歳代	36	32	68
40歳代	54	44	98
50歳代	58	45	103
60歳代	38	23	61
70歳代	37	20	57
80歳代	17	32	49
90歳以上	7	17	24
合計	337	284	621

医療圏別	患者数
盛岡	379
岩手中部	61
胆江	8
両磐	32
気仙	32
釜石	8
宮古	59
久慈	32
二戸	10
その他	-
合計	621

# 患者の入退院状況、入院前症状【2021.3.31現在 岩手県】

## 【入退院の状況】

累計 患者数	入院中		宿泊 療養中	退院・ 療養 解除	死亡者	入院等 調整中
		うち 重症者				
621	22	0	10	553	30	6

## 【入院前の症状】

区分	男	女	計	比率
有症状	270	217	487	78%
無症状	67	67	134	22%
計	337	284	621	100%

# 新型コロナウイルス感染症患者(死亡例)の状況(岩手県)

岩手県保健福祉部医療政策室

## 1 年代・男女別(R3.3.31現在)

年代	男	女	計
60歳未満	-人	1人	1人
60代	3人	-人	3人
70代	8人	2人	10人
80代	5人	6人	11人
90歳以上	3人	2人	5人
計	19人	11人	30人

## 2 重症化の主なリスク因子 (基礎疾患等)

- ① 高齢者(65歳以上)
- ② 悪性腫瘍
- ③ 慢性腎臓病
- ④ 糖尿病
- ⑤ 高血圧
- ⑥ 脂質異常症
- ⑦ 喫煙
- ⑧ 心疾患
- ⑨ 肝疾患



# 岩手県内のクラスター確認例（令和2年～3年3月末）

【令和2年～3年3月末】

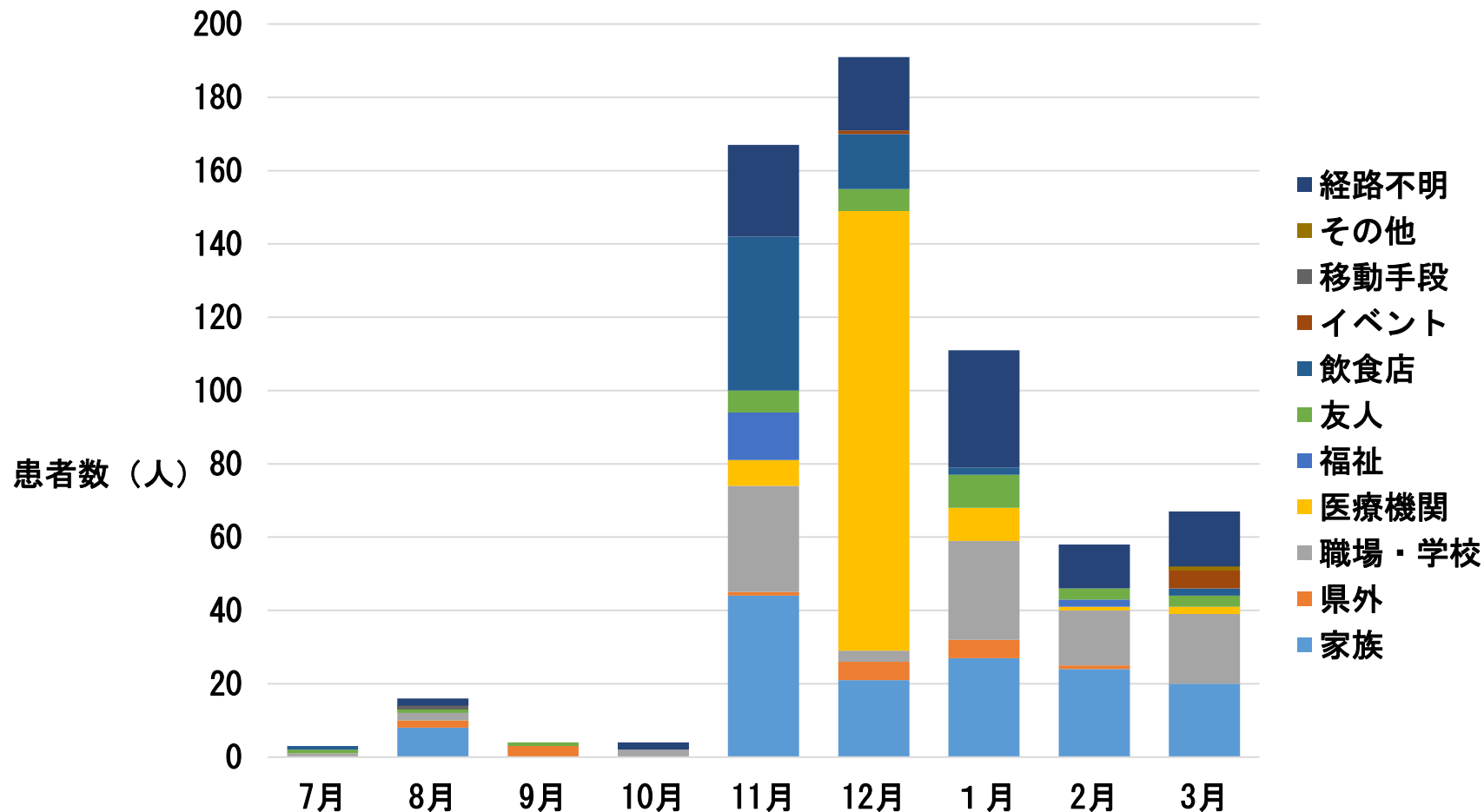
月	No.	区分	二次保健 医療圏	患者数
9月	1	職場1	胆江	4
11月	2	飲食店1	盛岡	52
	3	飲食店2	盛岡	17
	4	職場2	盛岡	15
	5	職場3	盛岡	13
	6	地域活動	盛岡	7
	7	高齢者施設1	久慈	8
	12月	8	医療施設1	盛岡
9		医療施設2	盛岡	118
10		飲食店3	両磐	18
1月	11	職場4	盛岡	8
	12	共同生活	岩手中部	13
	13	会食	岩手中部	8
2月	14	地域1	宮古	13
	15	地域会合	気仙	6
	16	学校1	気仙	22
3月	17	地域2	久慈	14
	18	職場5	盛岡	13
	19	職場6	盛岡	9



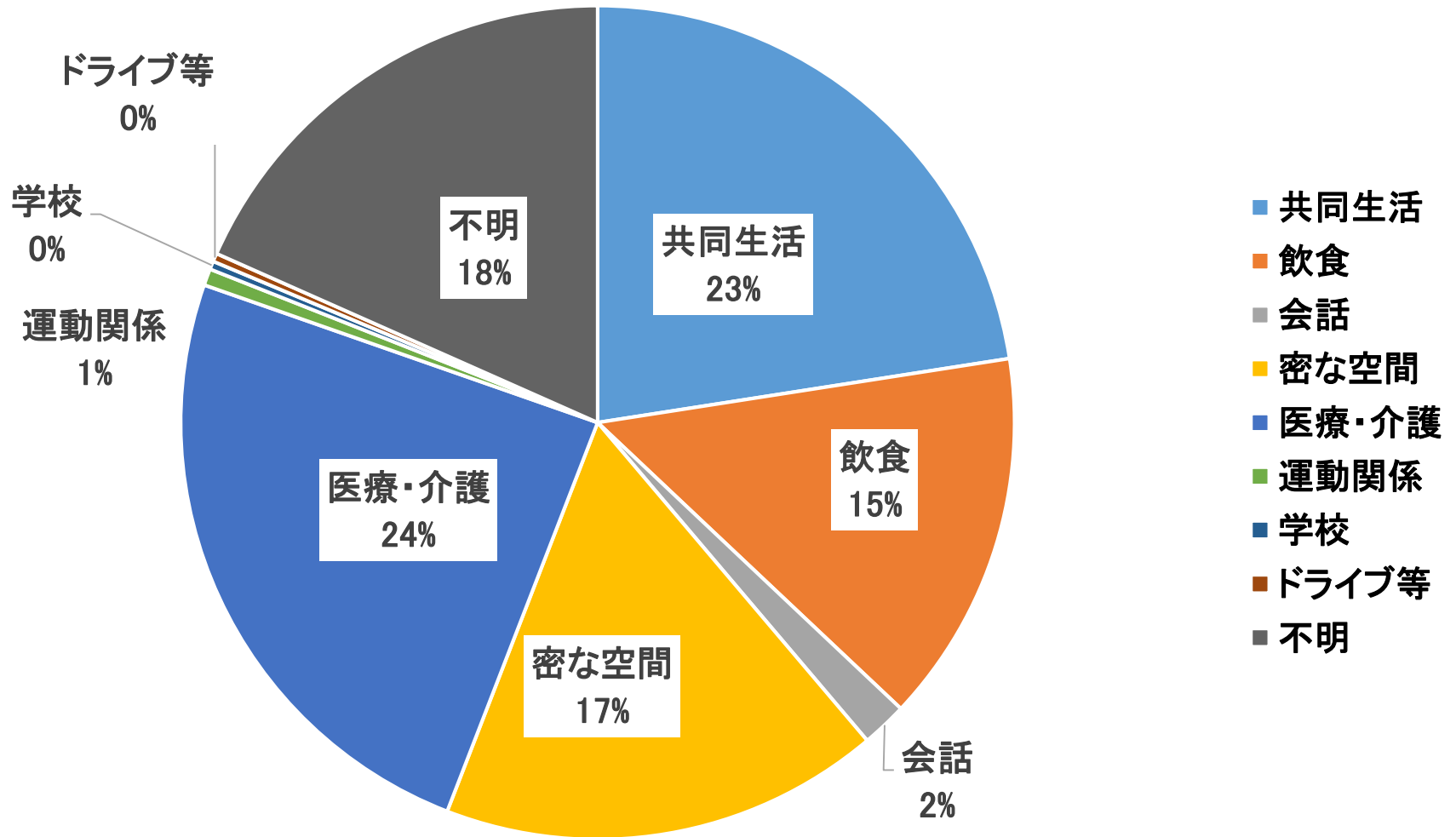
※ 複数圏域にまたがるクラスター（二次感染例含む。）は、起点となった圏域に計上

# 感染者の感染経路【2020.7.29～2021.3.31 岩手県】

感染者の感染経路、岩手県、n=621、  
2020.7.29～2021.3.31まで、公表日

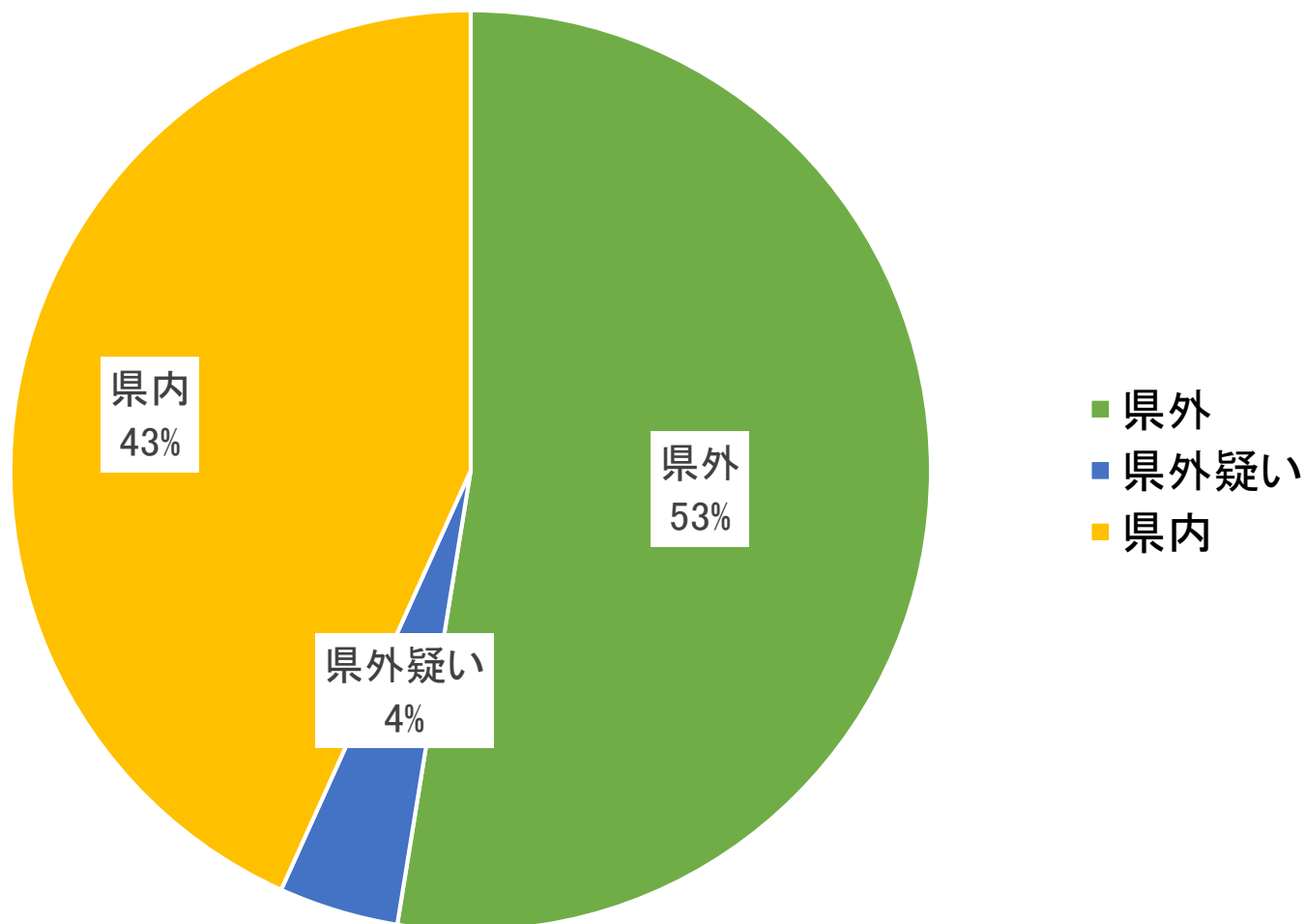


# 感染者の感染機会【2020.7.29～2021.3.31 岩手県】



感染機会別患者割合、n=621

# 年末年始の感染状況【2020.12.26～2021.1.18 岩手県】

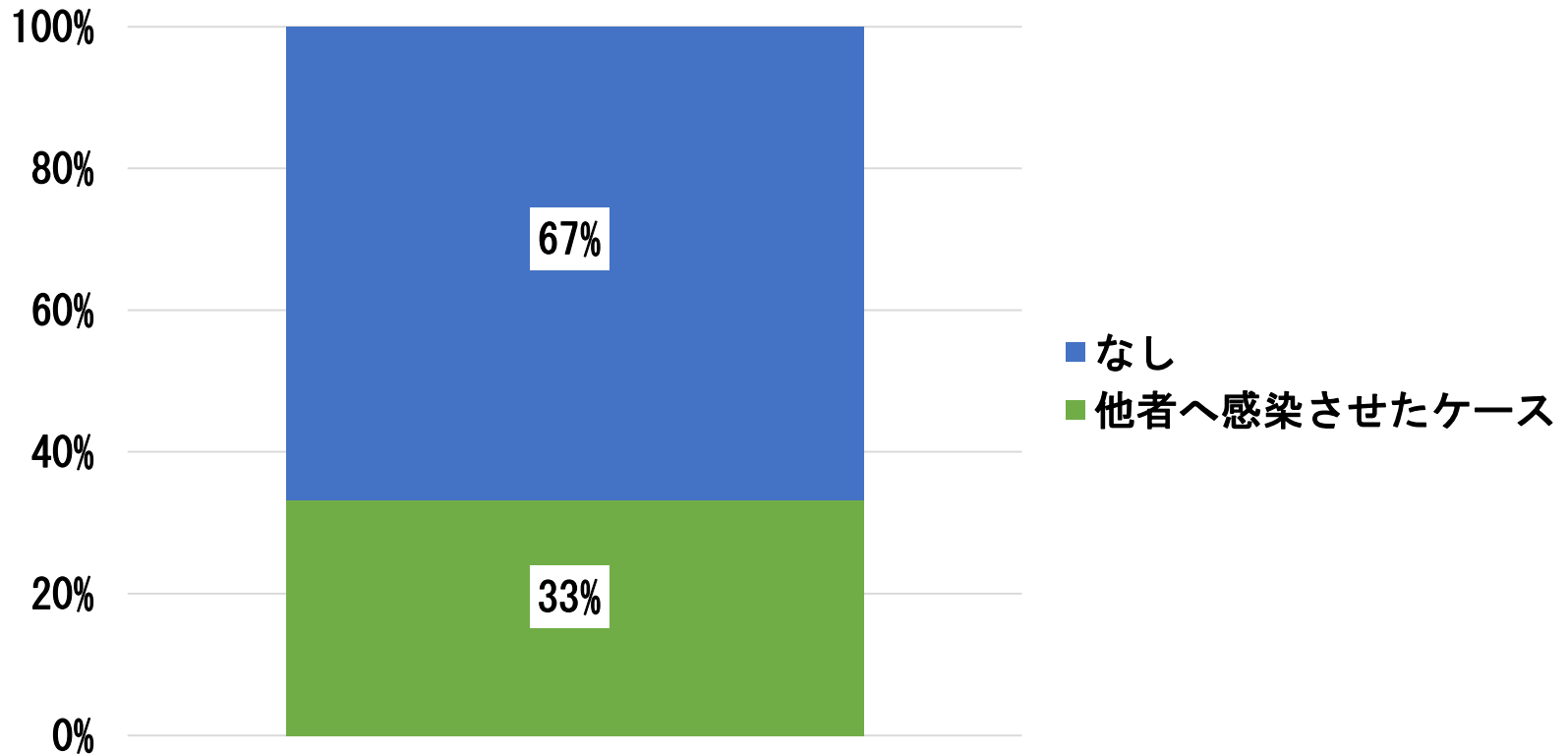


年末年始の感染者、n=118

県外:①県内在住者が県外で過ごし岩手に戻った患者、②県外居住者が来県した患者、③県外居住者が来県し、後に陽性が判明した患者、④接触したことによって発症した患者。  
県外疑い: 県外居住者が来県し、その後に感染陽性有無が不明な患者。

# 新型コロナウイルス感染者が他者に感染させたと思われる患者【2020.7.29～2021.3.31 岩手県】

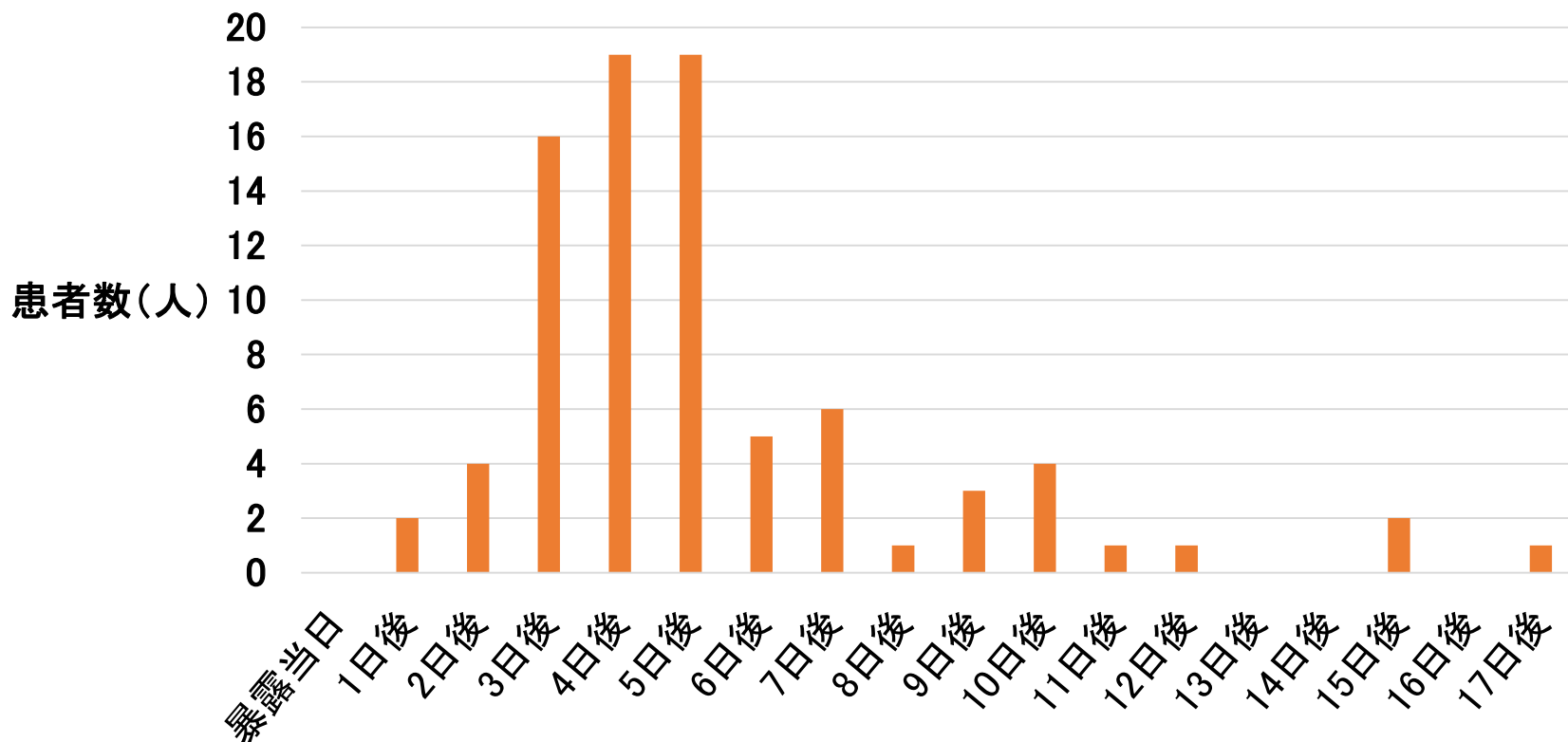
他者に感染させたと思われる患者、岩手県、n=564、  
2020.7.29～2021.3.31まで、公表日



対象者：雫石町の医療機関の入院患者を除き、積極的疫学調査の行動歴の記載がある患者。  
分類の定義：他者への感染させたと思われる患者は、積極的疫学調査票および記者席配布資料で、関連を示唆されたものとした。

# 新型コロナウイルス感染者の暴露を受けてから発症までの期間 【2020.7.29～2021.3.31 岩手県】

暴露から診断までの期間、岩手県、n=84、  
2020.7.29～2021.3.31まで、公表日

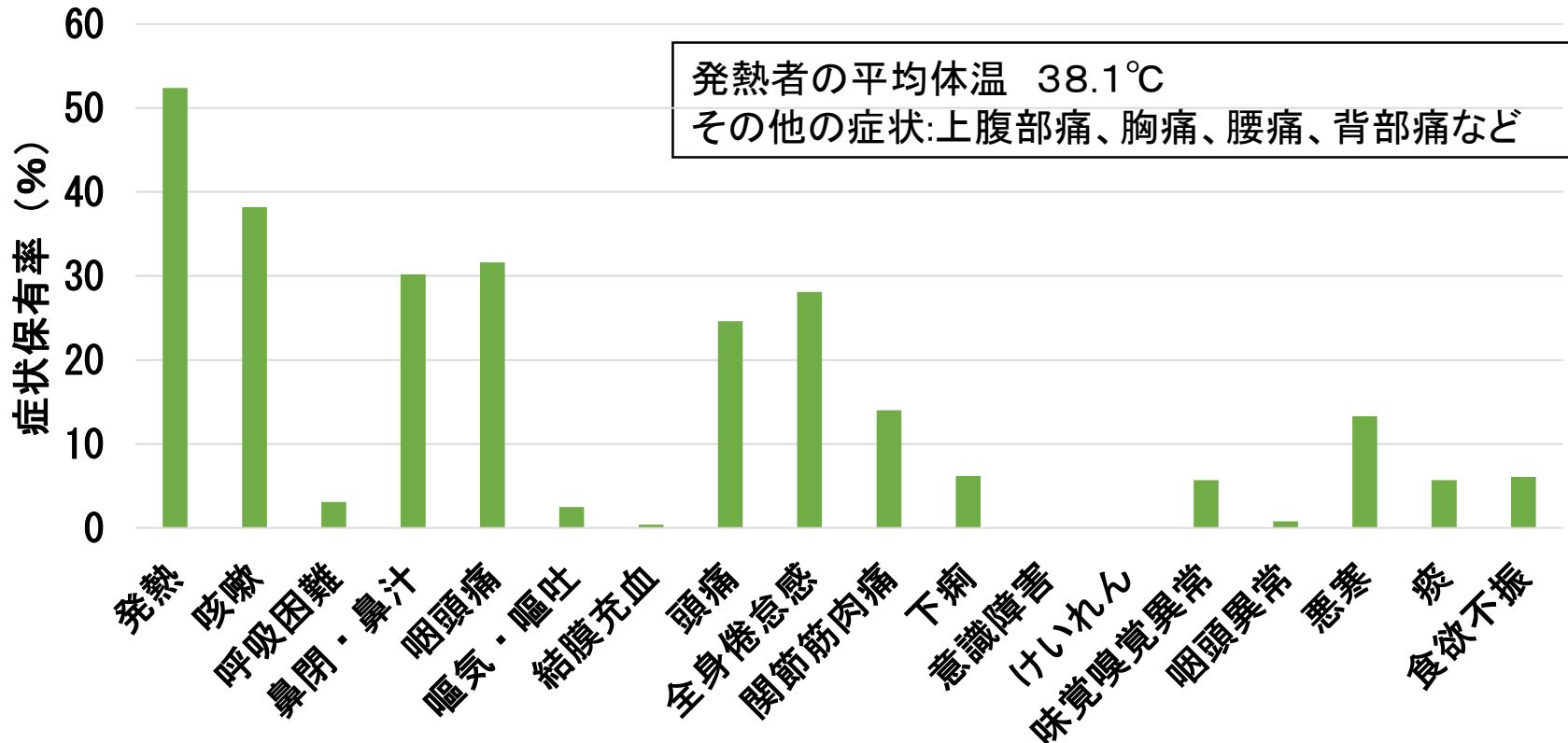


対象者： 感染機会が家族といった共同生活、接触日がはっきりしないクラスター事例、最終接触日が明確ではない患者を除外した84名。

分類の定義： 発症日は、記者席配布資料から抽出した発症日とした。最終接触日は、発症日の当日を含む、関連者と最後に接触した直近日を最終接触日とした。

# 感染者の症状【2020.7.29～2021.3.31 岩手県】

感染者の症状、岩手県、n=487、  
2020.7.29～2021.3.31まで、公表日

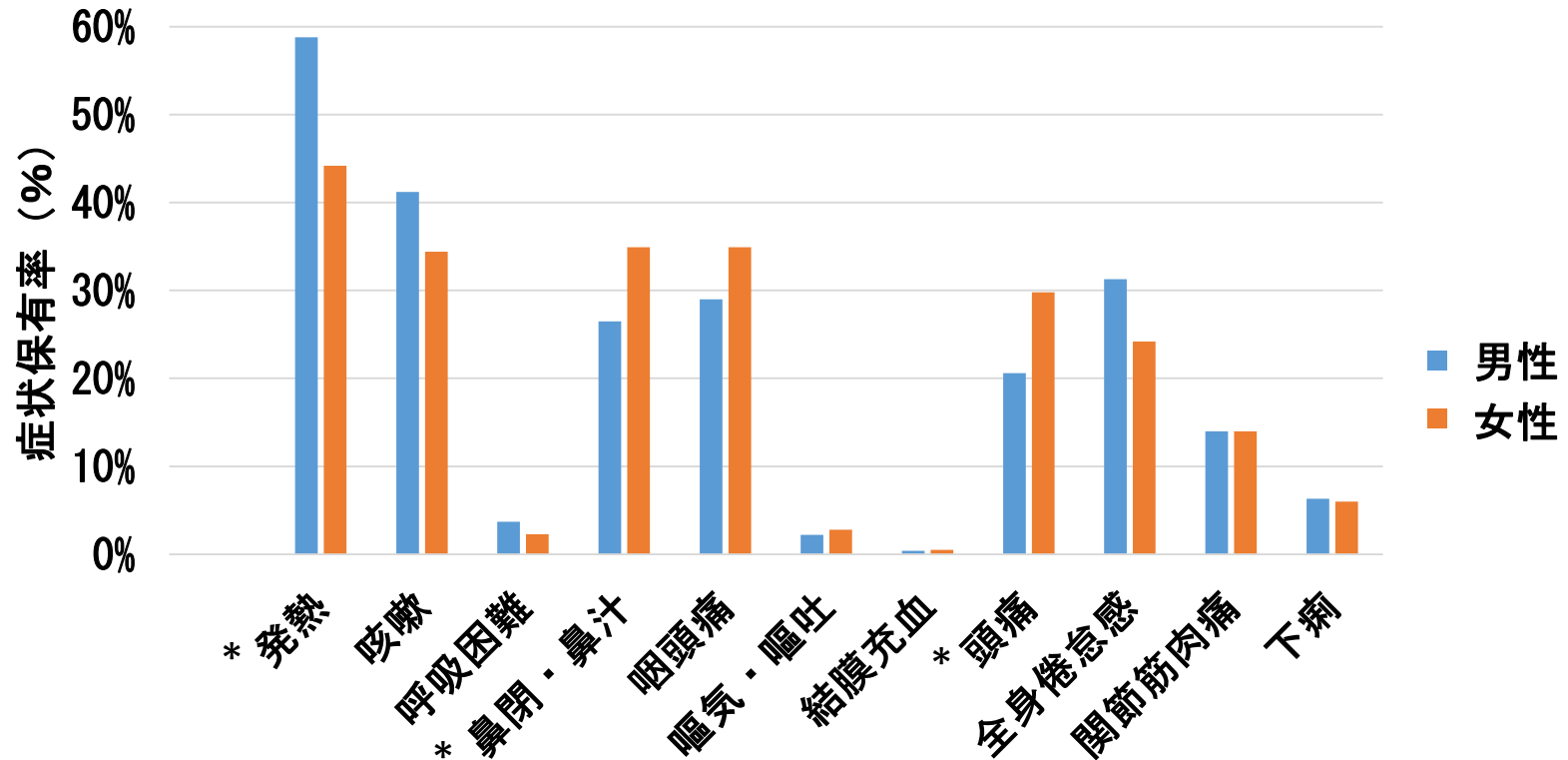


対象者:無症状病原体保有者を除いた487名。

分類の定義:発熱、37.5℃以上。症状が複数ある患者では、全ての症状をカウントした。

# 感染者の症状【2020.7.29～2021.3.31 岩手県】

感染者の症状（男女比較）、岩手県、n=487、  
2020.7.29～2021.3.31まで、公表日



対象者：無症状病原体保有者を除いた487名。

分類の定義：発熱、37.5℃以上。症状が複数ある患者では、全ての症状をカウントした。

男女比較は、カイ二乗検定で実施。

\* 統計解析上、男女で有意差あり (P値<0.05)。



## 「病床・宿泊療養施設確保計画」の見直しについて

## 1 感染拡大局面における医療提供体制の充実に向けた検討（前回引続き）

令和3年3月18日の国の対策本部において緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染症への対応として下記の5つの項目について検討を進めるよう求められているところ。

1. 飲食の感染対策 2. 変異株対策の強化 3. モニタリング検査など感染拡大防止策の強化 4. ワクチン接種の着実な推進 **5. 医療提供体制の充実**

「5. 医療提供体制の充実」について、これまでの感染拡大局面での課題を点検・改善し、次の感染拡大時に確実に機能する体制に進化させ、「相談・受診・検査」→「療養先調整・搬送」→「転退院・解除」まで、一連の患者対応が目詰まりなく行われ、病床・宿泊療養施設が最大限活用される流れを確保できるよう検討するもの。

## 2 本日の委員会の確認・検討事項

県全体の病床・宿泊療養施設確保計画を見直すことが求められていることを踏まえ、これまでの本県の感染患者数の動向及び対応状況の検証し、以下の項目について議論する。

## (1) 感染者数が大幅に増大した場合におけるコロナ病床及び宿泊療養施設の確保数

現行の計画通りの確保数で対応できるとの見解が示されたところであり、4月に実施した調査において病床数は確保できていることから計画の変更は行わない。

対応方針等の前提とする値		現時点の病床等確保状況		
最大新規感染者数 (人/日)	最大療養者数 (人/日)	病床数 (床)	宿泊療養施設室数 (室)	合計 (床又は室)
86 (過去最大の2倍)	508 (過去最大の4倍)	350	300	650

## (2) 軽症者等宿泊療養施設の対象者

現在、軽症者等宿泊療養施設においては、第7回医療体制検討委員会での議論を踏まえ50代までの患者を受け入れることとしているが、医療体制のフェーズ3（まん延期）に至るなどさらに感染が拡大した場合、医師の判断のもと柔軟に対応することとしてはどうか。

## (3) 本県における自宅療養のあり方

(1)の体制を整えたとしても感染の急拡大により一時的に病床や宿泊施設が不足し、自宅療養を選択せざるを得ない場合、急変時に対応する医療機関について、予め対応医療機関リストの作成など今後検討が必要。

## (4) 後方支援医療機関による転院支援の仕組みの導入

県が実施した調査結果によれば、県内の数十カ所の医療機関から受入れについて前向き回答が得られたことから、改めて病院側の意向を確認したうえで医療圏毎にリスト化し、コロナ患者受入れ医療機関及び保健所と共有したうえで、回復した患者の受入れ先の調整に活用することとしたい。

## 岩手県における新型コロナウイルス感染症に係る医療体制について（抜粋）

令和 2 年 5 月 18 日

岩手県新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会

（令和 2 年 6 月 9 日改定）

（令和 2 年 7 月 9 日改定）

（令和 2 年 9 月 11 日改定）

（令和 2 年 10 月 22 日改定）

## 1 岩手県におけるフェーズの考え方

感染症病床の利用状況を目安にフェーズに応じた医療体制を構築する。

	フェーズ0 【未発生期】	フェーズ1 【発生初期】	フェーズ2 【発生拡大期】	フェーズ3 【まん延期】
指標 (感染症指定医療機関等の利用状況)	すべての医療機関の感染症病床が利用できる	感染症病床に余裕がある	一部の医療機関の感染症病床が満床となった又は県内の半数の感染症病床に患者を収容している状況	すべての医療機関の感染症病床が満床となった ・重点医療機関等の病床の利用が進んだ状況
医療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力医療機関<sup>※1</sup>での疑い患者の受入れ開始</li> <li>感染症指定医療機関での受入れの準備</li> <li>重点医療機関等<sup>※2</sup>での受入れの準備</li> <li>最重症患者の高度医療機関<sup>※3</sup>での受入れの準備</li> <li>休止病床の再開に向けた検討</li> <li>軽症者の宿泊施設等における療養の体制検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症指定医療機関での受入れを開始</li> <li>重点医療機関等での受入れを開始</li> <li>最重症患者の高度医療機関での受入れを開始</li> <li>休止病床の再開に向けた運用準備</li> <li>軽症者の宿泊施設等における療養の運用準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部医療機関の感染症病床が満床となった</li> <li>休止病床の準備及び再開</li> <li>軽症者の宿泊施設等での療養を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての医療機関の感染症病床が満床となった</li> <li>重点医療機関等の病床の利用が進んだ状況</li> </ul>

※1 協力医療機関とは、新型コロナウイルス感染症を疑う患者を受け入れる個室を有する医療機関であって、県が指定する医療機関をいう。

※2 重点医療機関等とは、県が指定する重点医療機関のほか、患者の受入れが出来るとして県に申出があった医療機関をいう。

※3 高度医療機関とは、複数の ECMO を運用しており、高度な医療を提供可能な医療機関を指すもの。

## 2 岩手県における医療機関ごとの役割分担の考え方（別表1）

患者の症状に併せ、医療機関又は宿泊療養施設等の搬送先と搬送手段を調整する。

仕分け基準	フェーズ 【未発生期】	フェーズ1 【発生初期】	フェーズ2 【発生拡大期】	フェーズ3 【まん延期】
レベル1 患者の状態：無症状・軽症 必要な医療：健康観察	宿泊療養施設での療養を検討	原則、感染症病床へ措置入院	宿泊療養施設等での療養を実施	
レベル2 患者の状態：中等症 必要な医療：酸素投与	—	・感染症病床 (患者の状態等により重点医療機関等へ入院※)		
レベル3 患者の状態：重症 必要な医療：人工呼吸器	—	・感染症病床又は重点医療機関等へ入院※		
レベル4 患者の状態：最重症 必要な医療：ECMO	—	・高度医療機関へ入院		

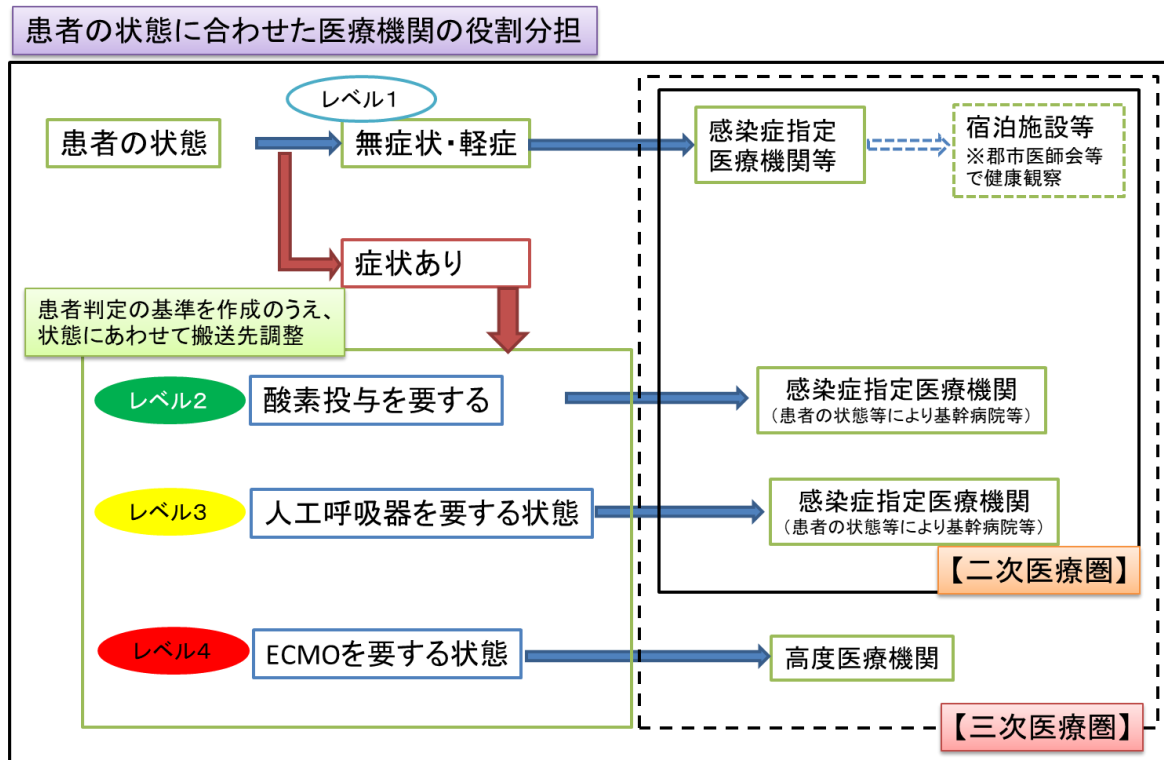
※ 人工呼吸器、陰圧病床（簡易・結核）の有無、医療人材の状況により保健所又は入院等搬送調整班が入院調整を行う。

## 3 病床確保の考え方（別表2）

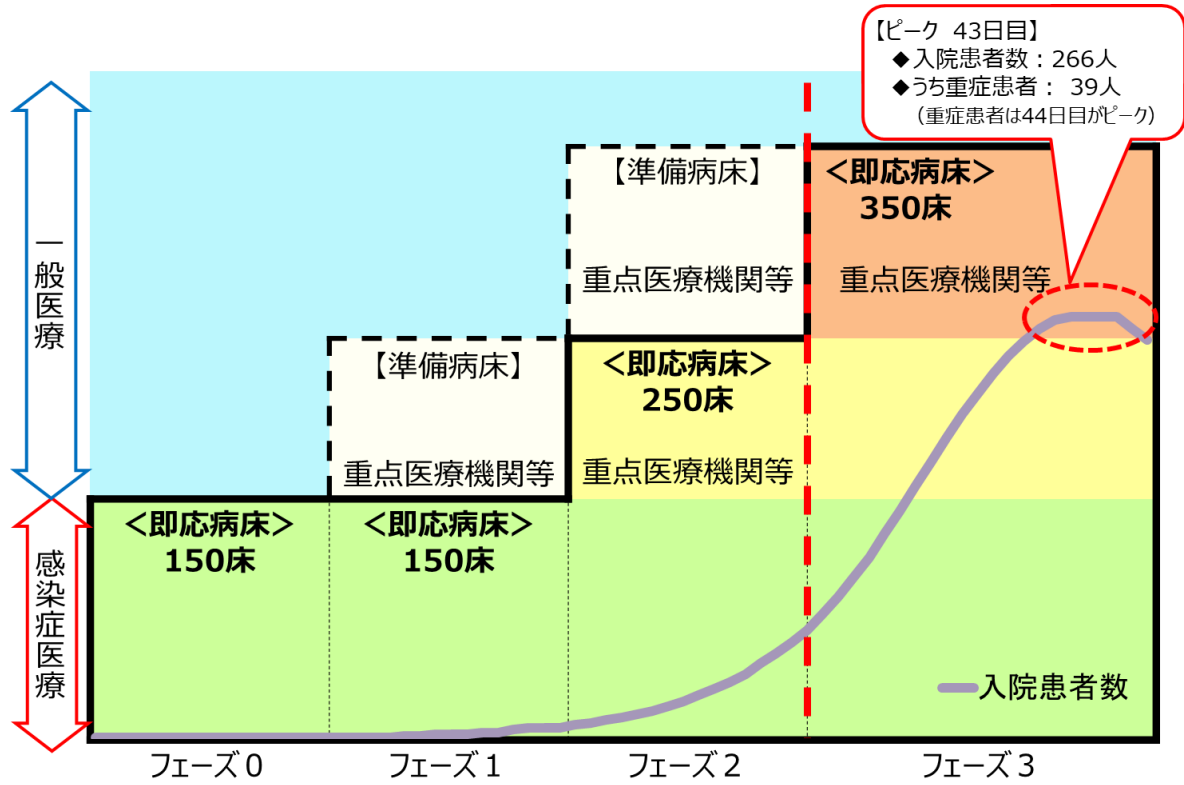
- ア. 新しい患者推計に基づき、フェーズ毎に必要なと考えられる病床確保計画数を示したうえで、患者発生状況を踏まえながら重点医療機関等の準備病床から即応病床に移行することで、段階的に病床を確保する。
- イ. フェーズ0（未発生期）は、大規模クラスター発生（100～140人程度）も想定し、即時受入れ可能な病床として150病床程度確保する。
- ウ. フェーズ1（発生初期）では、感染拡大を見据え、フェーズ2に移行するまでの間（2週間）で準備病床は即応病床への移行準備を進める。  
なお、フェーズ2から3に移行する期間が短いことも踏まえ、病床を250床確保する。
- エ. フェーズ2（感染拡大期）では、フェーズ3に移行することを想定し、準備病床は即応病床への移行準備を進める。  
宿泊療養施設は、フェーズ3に備え、300室の稼働の準備を始める。
- オ. フェーズ3（まん延期）には、県内全体で350床の病床、軽症者等宿泊療養施設を300床、あわせて650床を目標とする計画とする。

	フェーズ0 【未発生期】	フェーズ1 【発生初期】	フェーズ2 【発生拡大期】	フェーズ3 【まん延期】
指標 (感染症指定医療機関等の利用状況)	すべての医療機関の感染症病床が利用できる	感染症病床に余裕がある	一部の医療機関の感染症病床が満床となった又は県内の半数の感染症病床に患者を収容している状況	・すべての医療機関の感染症病床が満床となった ・重点医療機関等の病床の利用が進んだ状況
経過日数	—	1～16日目	～22日目	23日目以降 ※ピークは42日目
全療養者	0人	1～30人	～66人	～最大379人
軽症者	—	1～13人	～26人	～最大113人
入院患者	—	1～17人	～40人	～最大266人
(重症)	—	(1～3人)	(～6人)	(～最大39人)
確保病床	150床	150床	250床	350床
軽症～中等症	130床	130床	220床	305床
重症	20床	20床	30床	45床
宿泊療養 部屋数	85室	85室	85室	300室
病床等計	235床	235床	335床	650床

【別表1：症状等に応じた搬送調整のイメージ】



【別表2：フェーズに応じて病床を段階的に確保するイメージ】



## 新型コロナワクチン接種の進捗状況について

### 1 ワクチン接種の進捗状況

#### (1) 県内のワクチンの配給量（5月23日現在）

- ① 医療従事者等分 96箱（106,860回分（全体97,810回分の109.3%））
- ② 高齢者等分 255箱（277,485回分（全体約812,000回分の34.2%））

#### (2) 県内のワクチンの接種実績（5月24日公表時点）

- ① 医療従事者等分 77,013回（内1回：46,590、内2回：30,423）（全体97,810回分の78.7%）
- ② 高齢者等分 31,730回（内1回：27,629、内2回：4,101）（全体約812,000回分の3.9%）

### 2 医療従事者等向け接種の取組状況

#### (1) 接種の対象者

第1弾及第2弾分は感染症指定医療機関等の医療従事者等に接種

第3弾分から感染症指定医療機関等以外の医療従事者に接種

第4弾分までの配給により、県内の希望する全ての医療従事者等が接種できる見込み

区分	配給時期	配給数量	バイアル数	接種可能人員	実施状況
第1～4弾	3/6～5/10の週	96箱	18,720	53,430	77,013

#### (2) 第4弾の接種体制（第3弾までに接種できなかった方、新たに接種対象者となった方）

基本型接種施設及び連携型接種施設による個別接種として調整中

#### (3) 終了見込み

第4弾の2回目接種が行われる6月中に終了する見込み

### 3 高齢者向け接種の取組状況

#### (1) 高齢者向けワクチンの配給スケジュール

4月5日の週から順次、高齢者向けワクチンが配給されており、国からは6/14の週までのワクチン配給量が示されている。なお、国は、6月中（第8弾まで）に全高齢者が2回目接種可能となる量のワクチンを供給する見込みであり、7月末を念頭に希望する高齢者にワクチン接種を終えるよう取組を進めることとしている。

区分	配給時期	配給数量	バイアル数	接種可能人員	実施状況
第1～5弾	4/5～5/17の週	255箱	49,725	138,742	31,730
第6～7弾	5/24～6/14の週	301箱	58,695	176,085	—
第8弾分	6/21～6/28の週	未定	未定	未定	—
計	—	556箱	108,420	314,827	31,730

#### (2) 高齢者向け接種のスケジュール

4月12日の週に接種開始（4/12（月）は一関市、13日（火）は盛岡市で接種を実施）

5月24日には全ての市町村において接種開始

## 4 県による支援等

### (1) 医師等広域派遣調整業務

市町村が接種業務を行う医師等の確保が困難な場合について、圏域を越えた広域的な医師等の派遣調整等を行うもの。

### (2) 新型コロナワクチン接種時間外等派遣事業費補助

7月末までに高齢者向けのワクチン接種を終えることができるよう、時間外・休日に行われる集団接種に医療従事者を派遣した医療機関に対して、派遣に要した費用の補助を行うもの。

### (3) 広域的なワクチン接種の機会の確保

ワクチン接種の遅れの見られる市町村を県が補完する等の支援のため、県が広域的な集団接種の機会を設けようとするもの。

### (4) 専門相談窓口の機能強化

ワクチン専門相談コールセンターにおいて受付機能の強化（24時間、外国語、聴覚障がい者対応）等を図るもの。

クラスター対応状況について  
【令和3年5月28日現在】

1 高齢者施設2（滝沢市）で発生したクラスターの対応について

(1) 患者数

	入所者	職員	関係者	計
検査対象者	44	29	110	183
検査実施者	44	29	110	183
患者数	26	11	5	42

5月12日から、最長潜伏期間（14日）を経過した5月26日をもってクラスターが収束したものと判断。

(2) 施設内管理における医療提供体制について

- ◆ タスクフォースの医師及び医療政策室医務主幹が常駐で管理し、急変時は電話で対応
- ◆ 陽性者が療養解除となるまでの間、常駐としていたもの。

2 高齢者施設3（奥州市）で発生したクラスターの対応について

(1) 患者数

	入所者	職員	関係者	計
検査対象者	120	96	70	286
検査実施者	120	96	70	286
患者数	51	24	5	80

(2) 施設内管理における医療提供体制について

- ◆ 1日2回（10時/16時）の往診
- ◆ 県立胆沢病院及び奥州市総合水沢病院の医師1名、看護師1名が訪問
- ◆ 施設の看護師等に陽性者の発熱の状況や酸素飽和濃度を確認  
患者の診察を行い、変化があった場合には、患者を医療機関に入院させる等の対応

3 その他

両施設ともに、タスクフォースを派遣した際にパルスオキシメーターを持参し活用した。

また、ガントチャートの作成方法・管理を行いながら、保健所、診療を行った医師及びタスクフォースの間で情報共有し、療養期間の管理を適切に実施した。



**新型コロナウイルス変異株検査結果について**  
(令和3年5月28日 10時現在)

**1 変異株 PCR 検査 (N501Y スクリーニング検査・岩手県環境保健研究センター)**

実施月	総件数(件)	うち陽性(件)	検査対象
令和3年2月	47	0	1月～2月公表分検体
3月	31	0	2月～3月 21 日公表分検体
4月	121	3	3月 22 日～4月 26 日公表分検体
5月①	9	0	4月 28 日～5月 7日公表分検体
5月②	22	6	4月 22 日～5月 7日公表分検体
5月③	7	4	5月 12 日～5月 14 日公表分検体
5月④	47	10	4月 14 日～5月 19 日公表分検体
5月⑤	27	13	4月 18 日～5月 26 日公表分検体
合計	311	36	

**2 変異株 PCR 検査 (N501Y スクリーニング検査・民間検査機関)**

実施月	総件数(件)	うち陽性(件)	検査対象
令和3年4月～5月	8	1	3月 17 日～5月 18 日公表分検体

**3 ゲノム解析の結果 (国立感染症研究所)**

検査分類	検体送付	総件数(件)	解析結果(件)					摘要
			国内第2波系統	国内第3波系統	変異株 E484K	変異株 N501Y	解析不能	
定期検査	1回目	139	119	20	0	0	0	
	2回目	71	36	35	0	0	0	
	3回目	40	0	7	31	0	2	E484K の変異(+)、 N501Y の変異(-)
	4回目	24	0	0	24	0	0	E484K の変異(+)、 N501Y の変異(-)
随時検査	1回目	2	0	0	0	2	0	英国型変異株 (N501Y の変異(+))
	2回目	1	0	0	0	1	0	英国型変異株 (N501Y の変異(+))
計		277	155	62	55	3	2	

## 変異株スクリーニング検査の実施状況 (5/10-5/16) 速報値 2021/5/25時点

	都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率% ②/①		都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率% ②/①
1	北海道	3,721	1,547	1,376	89	25	滋賀県	346	116	103	89
2	青森県	171	56	10	18	26	京都府	960	482	419	87
3	岩手県	132	56	10	18	27	大阪府	5,235	1,990	1,719	86
4	宮城県	214	92	69	75	28	兵庫県	2,273	998	907	91
5	秋田県	92	51	9	18	29	奈良県	493	247	232	94
6	山形県	116	70	53	76	30	和歌山県	124	114	96	84
7	福島県	385	104	69	66	31	鳥取県	35	35	35	100
8	茨城県	448	232	139	60	32	島根県	58	36	35	97
9	栃木県	245	182	103	57	33	岡山県	1,149	538	488	91
10	群馬県	499	196	127	65	34	広島県	1,438	456	411	90
11	埼玉県	1,701	760	601	79	35	山口県	360	268	260	97
12	千葉県	1,087	376	291	77	36	徳島県	92	41	37	90
13	東京都	5,645	2,509	2,008	80	37	香川県	241	201	183	91
14	神奈川県	2,134	577	450	78	38	愛媛県	119	85	66	78
15	新潟県	282	185	139	75	39	高知県	30	26	23	88
16	富山県	102	76	59	78	40	福岡県	3,412	1,232	1,140	93
17	石川県	367	123	109	89	41	佐賀県	273	22	19	86
18	福井県	35	43	40	93	42	長崎県	246	213	199	93
19	山梨県	89	59	52	88	43	熊本県	701	173	164	95
20	長野県	237	181	146	81	44	大分県	497	29	28	97
21	岐阜県	926	52	41	79	45	宮崎県	251	79	76	96
22	静岡県	636	289	258	89	46	鹿児島県	313	279	209	75
23	愛知県	4,023	836	697	83	47	沖縄県	775	200	118	59
24	三重県	315	226	186	82		全国	<b>43,023</b>	<b>16,738</b>	<b>14,009</b>	<b>84%</b>

※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体や判定不能であった実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。※4 自治体と民間検査機関（国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの）を合算して算出。

5

## 変異株スクリーニング検査の実施率・陽性率（機械的な試算）速報値 2021/5/25時点

5/10-5/16	新規陽性者数	合計 (①+②)		① 自治体			② 民間検査機関		
		実施率	陽性率	実施件数	陽性者数	陽性率	実施件数	陽性者数	陽性率
北海道	3,721	42%	89%	319	243	76%	1,228	1,133	92%
東京都	5,645	44%	80%	105	70	67%	2,404	1,938	81%
愛知県	4,023	21%	83%	364	310	85%	472	387	82%
京都府	960	50%	87%	175	160	91%	307	259	84%
大阪府	5,235	38%	86%	892	739	83%	1,098	980	89%
兵庫県	2,273	44%	91%	678	634	94%	320	273	85%
岡山県	1,149	47%	91%	101	91	90%	437	397	91%
広島県	1,438	32%	90%	407	364	89%	49	47	96%
福岡県	3,412	36%	93%	530	468	88%	702	672	96%
沖縄県	775	26%	59%	98	39	40%	102	79	77%
全国	43,023	39%	84%	7,689	6,343	82%	9,049	7,666	85%

※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体や判定不能であった実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。※4 自治体と民間検査機関（国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの）を合算して算出。

6

## 高齢者施設等における網羅的な PCR 検査の実施について

### 1 PCR 等検査の基本的な考え方

「新型コロナウイルス感染症のまん延期における検査方針について」（令和 3 年 2 月 19 日付岩手県保健福祉部医療政策室通知）の「3 無症状者に対する網羅的な行政検査」により実施する。

#### 3 無症状者に対する網羅的な行政検査

本県が緊急事態宣言の対象区域となった場合又は地域において多数の感染者若しくはクラスターが発生し網羅的な検査が必要と判断された場合は、次により幅広く検査を実施する。（参考：国事務連絡 R3.1.22、国事務連絡 R3.2.4 付）

- ① 医療機関及び高齢者施設等に勤務する者、入院・入所者全員を対象に、一斉・定期的な検査を実施。
- ② 医療機関、高齢者施設等において幅広く検査を実施する場合、検体プールによる PCR 検査法及び抗原定性検査を採用することも考慮。

### 2 奥州保健所管内の高齢者施設における検査について

奥州保健所管内の高齢者施設を対象とした検査の概要は次のとおり

#### (1) 背景

奥州保健所管内の一部地域において感染経路不明の患者が多数確認されたことから、岩手県新型コロナウイルス感染症対策専門委員会の意見を踏まえて実施したもの

#### (2) 検査対象

奥州保健所管内の当該地域における入所型高齢者施設の一部（15 施設）の全従業員

#### (3) 検査年月日

ア 第 1 回（令和 3 年 4 月 26 日、4 月 28 日）

イ 第 2 回（令和 3 年 5 月 15 日、5 月 17 日）

#### (4) 検査結果

実施年月日		検査人数	検査結果	
			検出	不検出
第 1 回	15 施設	604	0	604
第 2 回	15 施設	607	0	607
合計（延べ検査人数）		1,211	0	1,211

### 3 今後の社会的検査の実施について

社会的検査の対象施設の拡大等については、地域の感染状況やクラスターの発生状況を注視し、岩手県新型コロナウイルス感染症対策専門委員会の意見等を踏まえ、検討する。